VOLUME.
4

【漫画】小宮利公
【原作】笑うヤカン
キャラクター原案◎新堂アラタ

魔王の始め方

THE COMIC

ヴァルキリーコミックス

【漫画】
小宮利公

今巻はユニスの親族と全面対決がメインです。
いつもよりエッチなシーンは控えめですがその分アクション多め。
オウルの明かされる過去、
そして衝撃展開をお楽しみください。

【原作】
笑うヤカン

ついに4巻です!
話の都合上今巻はオッサンばかりが出て来る、
男性向けサイトで連載されていた作品に
あるまじき回になっちゃってますが、
最後の最後にとっても可愛い女の子が
出てくるのでご期待ください。
大きなおめめがとってもキュートな
年上キャラです。

ヴァルキリーコミックス

魔王の始め方

THE COMIC

4

【漫画】小宮利公 【原作】笑うヤカン
キャラクター原案◎新堂アラタ

CONTENTS

valkyrie comic series - how to book on the devil the comic
comicwork by komiya toshimasa - story work by warau yakan
presented by kill time communication

4

Step.22 ——— 5
Step.23 ——— 21
Step.24 ——— 45
Step.25 ——— 73
Step.26 ——— 93
Step.27 ——— 117
Step.28 ——— 143
Step.29 ——— 167

「魔王の始め方オンライン」シリアルコード ——— 72

RAPHANIS

Step.22

南には大国
グランディエラ
英雄王
ウォルフ率いる
騎兵団を擁する
強大な国だ
軍事力で言うなら
大陸随一だろうな
元々はそれほど
大きい国ではなかったが
一代で周りの国を
次々と呑み込み
あっという間に
大きくなった

北には宗教国家
ラファニス
千年以上前から
続く伝統ある国で
現在のトップは
聖女メリア
永世中立を謳い
自分たちから戦を
仕掛けることはないが
一旦仕掛けられれば
容赦はない
そうして幾つもの
国が返り討ちに
あっている
グランディエラでさえ
手を出せん
この大陸の盟主と
いえるだろう

他にめぼしい国は
東の竜騎士団を持つ
ラーヴァナとか
白アールヴたちの国
アルフハイム
あたりか
他の国はそれほど
大きくないし
隣接もしていないから
今は気にせんでいい

まず絶対に
敵に回してはいけないのは
ラファニスだ
ここは
こちらから
攻撃さえしなければ
侵攻してこないが
でも軍事力は
グランディエラの
方が上なんでしょ？
「敵意有り」と
断ぜられれば
一気に滅ぼされる
後には何も残らん
「軍事力」はな

だが
ラファニスの
聖女は
自称ではない
文字通り
神の御遣い
天使たちの
しもべだ
ラファニスを
敵に回すと
いうことは
天を敵に
回すという
ことでもある

でも神は
神代の戦争で
死んだんでしょ？

ああ だが
親玉が死んだだけで
あのクソ忌々しい
天使どもは天にいる

俺たち悪魔が
絶滅して
いないのと同じだ

そういえば
ローガンは
神魔戦争(しんませんそう)の
経験者
なんだっけ…

ああ
つっても
下っ端だったから
大したことは
してねぇぞ

だが
天を敵に回すのが
どれほどのことかは
わかるだろう

向こうも上の連中は
ほとんど存在こと
消滅してるから
神魔戦争の再来
ってほどには
ならないだろうが

まあ単純に
悪魔全部を
敵に回すのと
あんま
かわんねーわな

まあ今の戦力じゃ
逆立ちしたって
勝てる相手じゃねえ

あー
そりゃ
無理だね

というわけで
目下の脅威は
グランディエラだ
こちらから
打って出ずとも
向こうから
仕掛けてくる
可能性も高い
お父様
戦争大好き
だからね…
あたしはそれが
嫌で家を出たの
戦争の道具にされるのなんて真っ平
でも
オウルは
違うでしょ
悪くもない人を
野心の為に殺して
ひどい扱いして
植民地に
するなんて
あたしには
耐えられない

オウルは
他国を手に入れても
ちゃんとその国の
人たちの面倒を見る
ひどい扱いをしたり
奴隷にしたりもしない
王としての
責任を果たしてる
ああ
勿論だ
だから
オウルの下で
お父様を
止められるなら
あたしは
お父様とでも
戦うよ
たとえ
肉親をその手に
かけることに
なってもか？
…そのくらいの
覚悟はある
って言いたい
ところだけど…
ごめん
無理かも
しれない
そうか
まあ
無理にとは…
違うの
単純に
あたしじゃ
お父様は
倒せない

お父様は
あたしより
ずっと強いから

英雄王
ウォルフディール
狼王 獅子王
赤髪王など様々な
異名で知られる
その偉大なる王を
この大陸で
知らぬ者はいない

姫をさらった巨人を
剣一本で斬り殺し

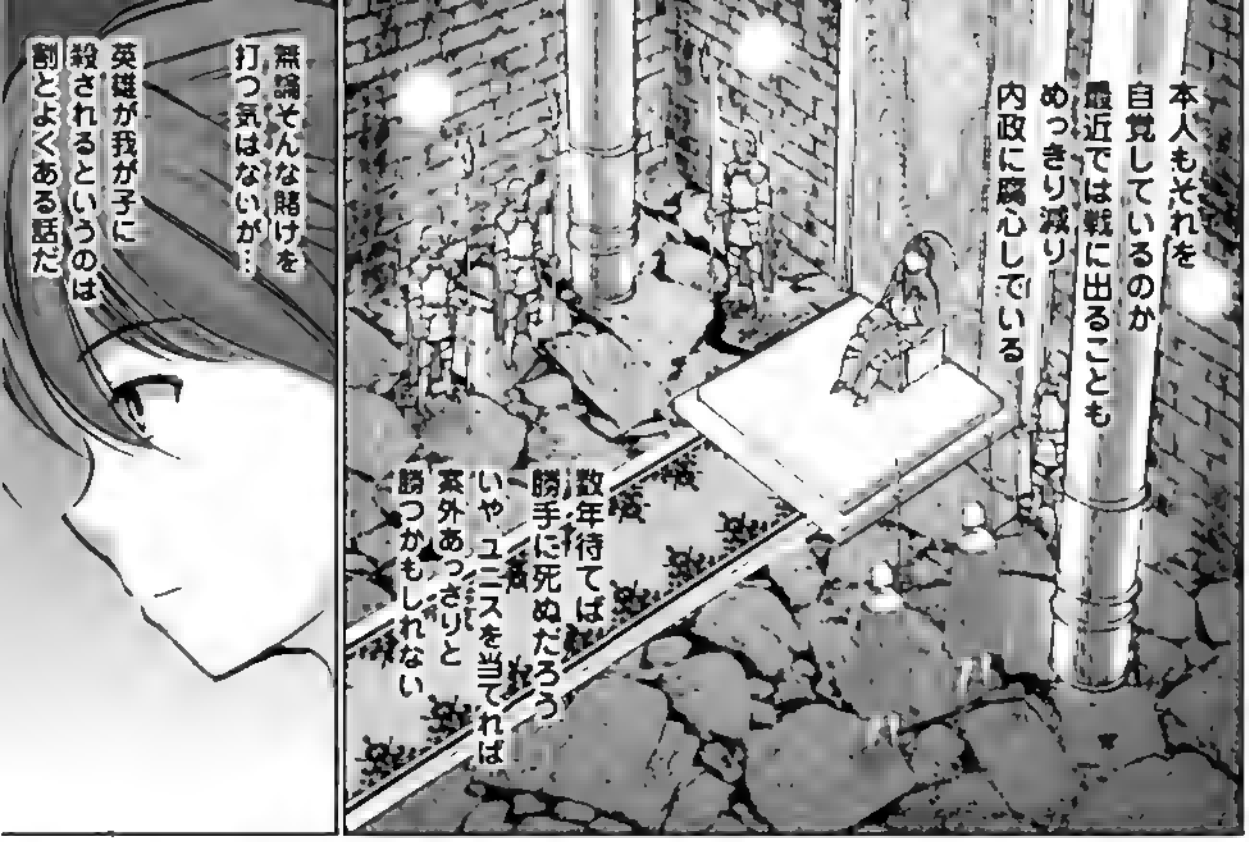
ただの平民から
王の座に
駆け上がった
若者は
その腕で
瞬く間に
国土を広げた
並み居る
悪鬼妖魔を
なぎ倒し
敵国を
平らげていく様は
幾つもの叙事詩(サーガ)に
綴められ
各国で吟遊詩人が
謡い伝えている
その勇猛さは
味方からはまさに
英雄と称えられ

敵からは
生ける死神と
恐れられた

しかし
オウルはウォルフを
それほど恐れては
いなかった

ウォルフの国は
大きくなりすぎた
もし戦うことに
なったとしても
勝敗を決めるのは
軍隊と戦略だ
個人の英雄の
武力ではない

また 長生きする
英雄などというものは
古今東西に目を向けても
それほどいない
その多くは二十代半ばで
命を落とし
三十を数えるものは少ない
五十を超えるウォルフは
破格と言っていい長命だが
そう長くはないだろう


本人もそれを
自覚しているのか
最近では戦に出ることも
めっきり減り
内政に腐心している
数年待てば
勝手に死ぬだろう
いやユニスを当てれば
案外あっさりと
勝つかもしれない
無論そんな賭けを
打つ気はないが…
英雄が我が子に
殺されるというのは
割とよくある話だ

問題は
それよりむしろ
大陸最強と名高い
騎兵団を
どうするかだ
勿論歩兵や
魔術兵の錬度も
フィグリア王国の
軍とは質も量も
比較にならない

それで
勝てるのならば
フィグリアは
とっくに大国に
なっている
こちらの強みは
あくまで
ダンジョンと
そこに蓄えた
大量の魔力だ
地力で勝る
敵を葬るなら
それを生かす
しかない

Step.22 End

Step.23

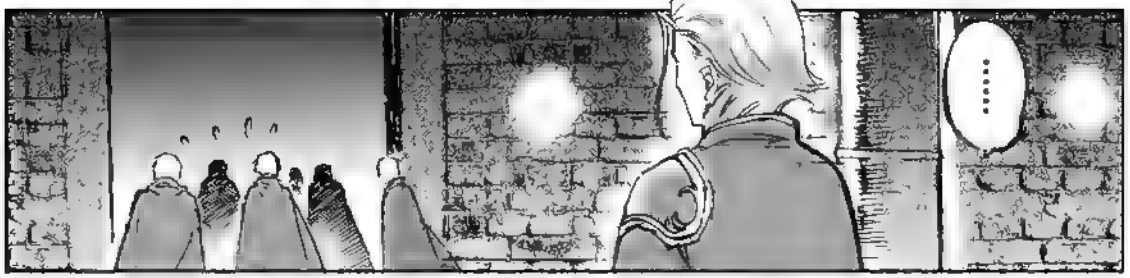
状況を
報告しろ

はグランディエラから宣戦布告がありました
陛下が留守中に使者が参りましたので私が代わりに応対しました
敵は南部のブランシュ平原での決戦を指定しております

それで？
…と申されますと？
敵の規模は今どこに布陣しておるのか
こちらがすぐ動かせる兵はどれだけいるのか
その内訳は勝算はどれほどあるのか
そういったことを聞いておる

その…ただいま調査中です
まずは陛下にご報告をと思いまして
取るものも取りあえず
こうして参集仕った訳でして…
参集だと？
余を呼び寄せておいて
よくもぬけぬけとそのようなことを言えたものだな？
良いか
余は貴様らの生き死にに興味などない
私腹を肥やすも飢えて死ぬも自由だ
…だが我が道を遮るとなれば話は別だ
民も兵も皆我がためにある敵に容赦などせぬ

…わかったらその「調査」とやらを疾く済ませよ
は…
…はっ！

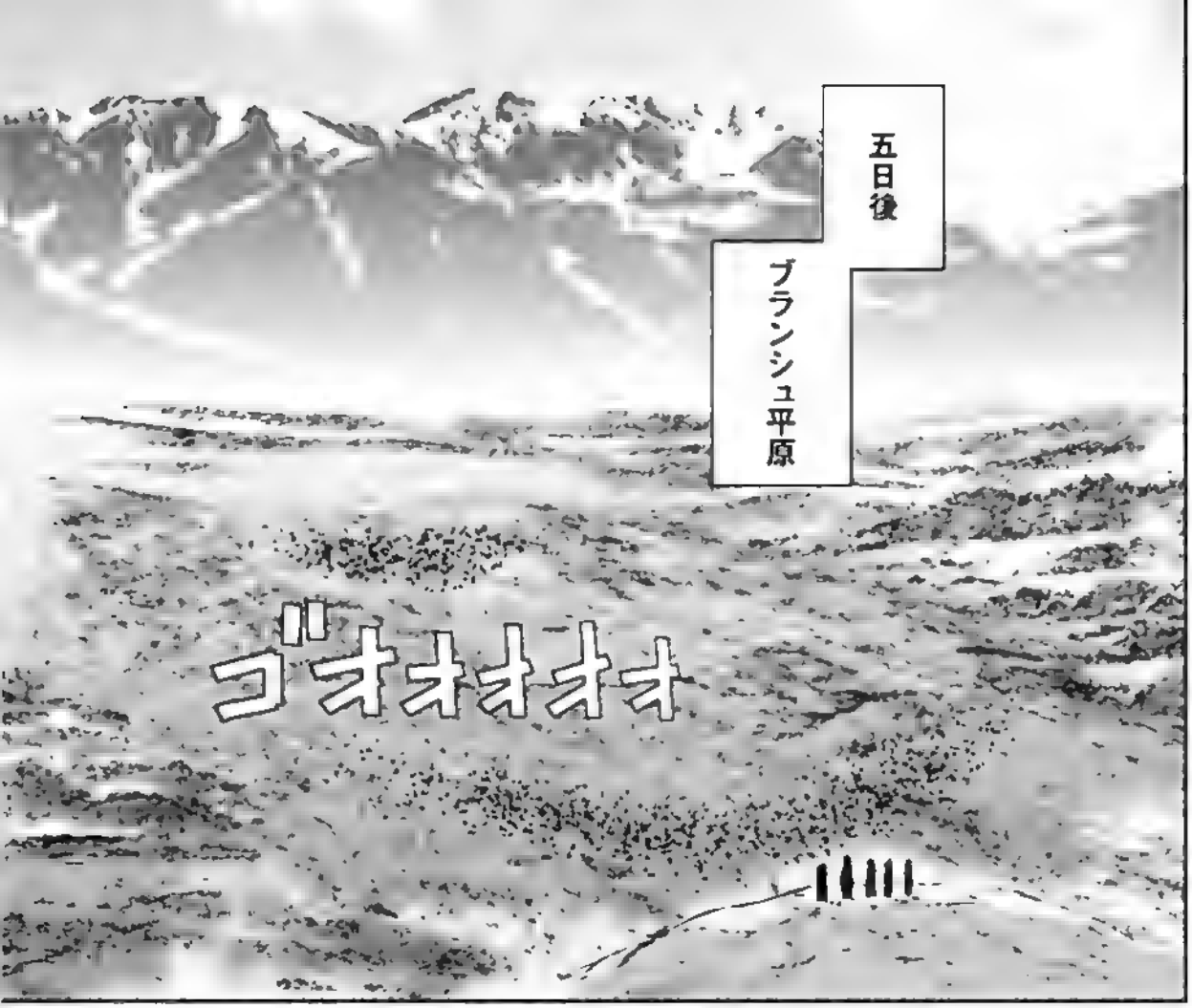

……

ふ…
全く…
あっはは
はははは
余
だって
笑い
すぎだ
前にも言っただろう
こういうのは
多少わかりやすい
方が良いんだ
でも
一人称「余」って
……ふふ
いいから
さっさと報告しろ

はいはい
こんな感じ
だったよ
…
敵の数は五千か…
少ないな

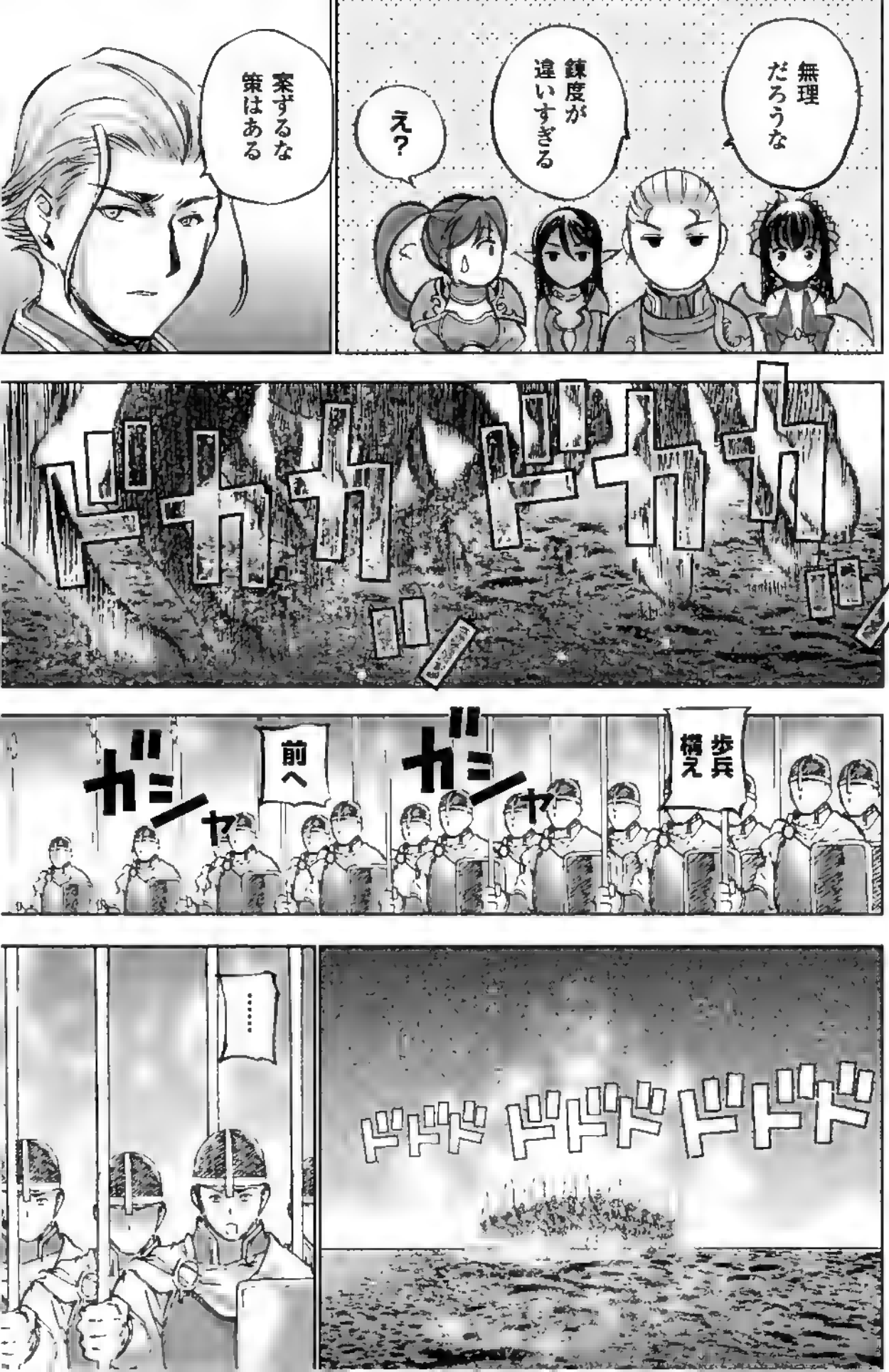
舐められてるのかな？
…そうかもしれんな
え
うそ
ほんとに？
正直それくらいしか理由が思いつかん
えーとほら
数を少なく見せておいて油断させて伏兵を出すとかさ
奇策奇襲は弱者のものだ
成功すれば格上を倒せるが失敗すれば大損害だ

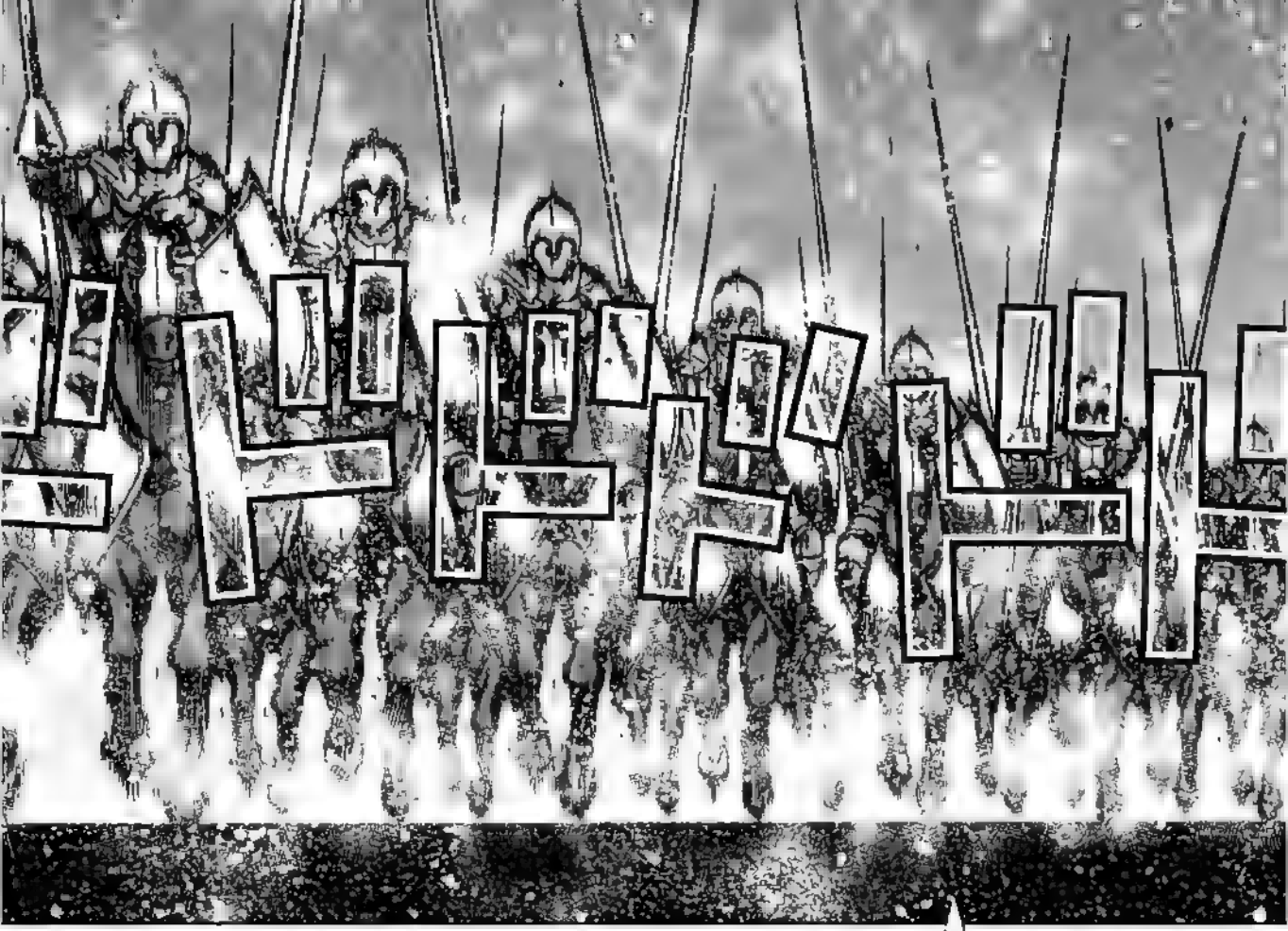
強者であるグランディエラが使う意味は薄い
数に任せて力押しした方がよほど損害が少ないのだからな
んーじゃあ…
…ええと行軍すれば兵士もお腹が減るからお金がかかるよね？
その金額を節約するためとか
確かに行軍には多大な金がかかる…が犠牲者の数は人数に反比例する
一人の兵士を育て上げるのにどれほどの金と時間がかかると思う？
行軍など比較にならんはずだが……
もう！淫魔にそんなのわかるわけないでしょ！
うう～
まあ良い舐めてかかってくれるならそれに越したことはない
権謀術策を巡らそうというならそれごと叩き潰すまでだ

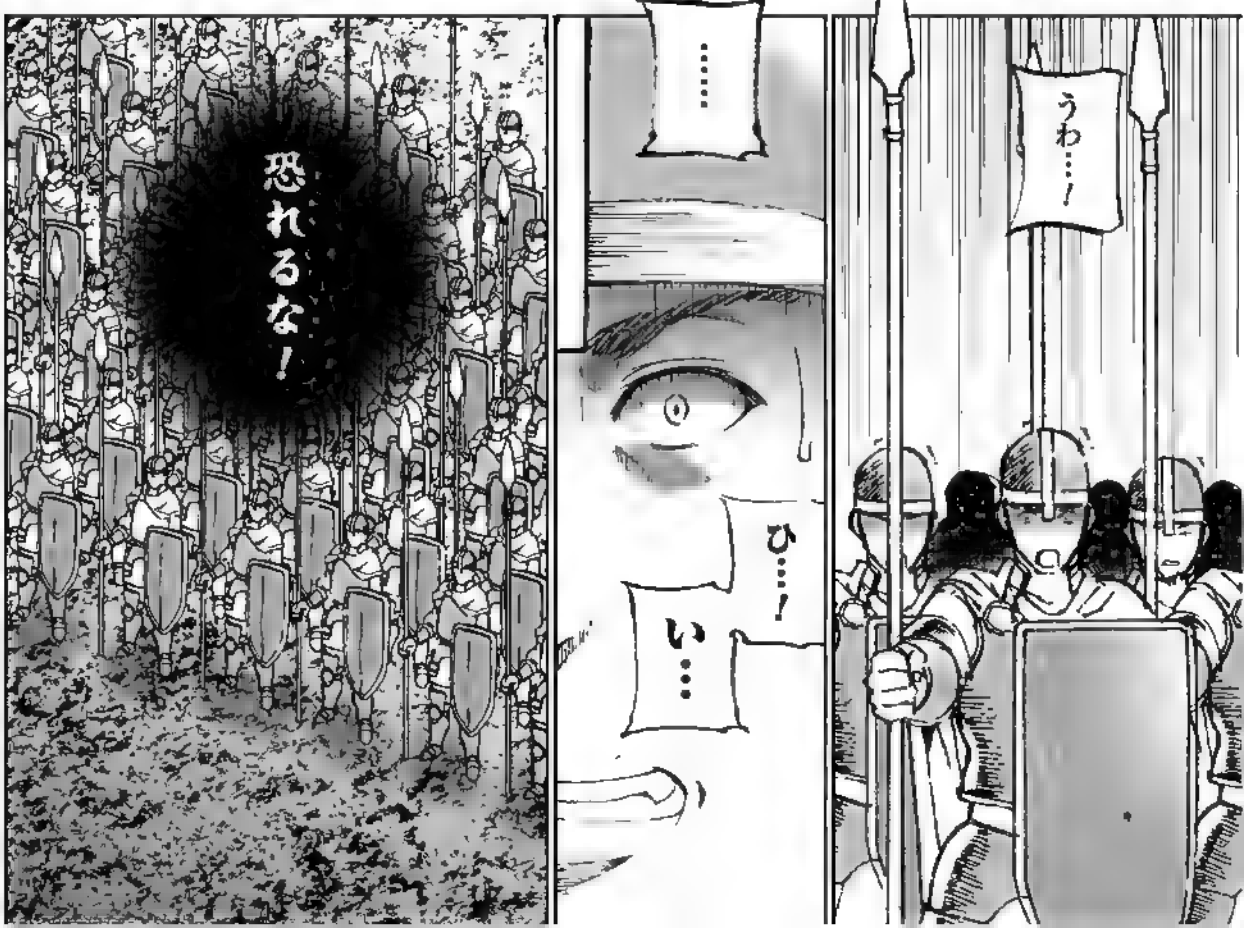

五日後
ブランシュ平原
ゴオオオオ

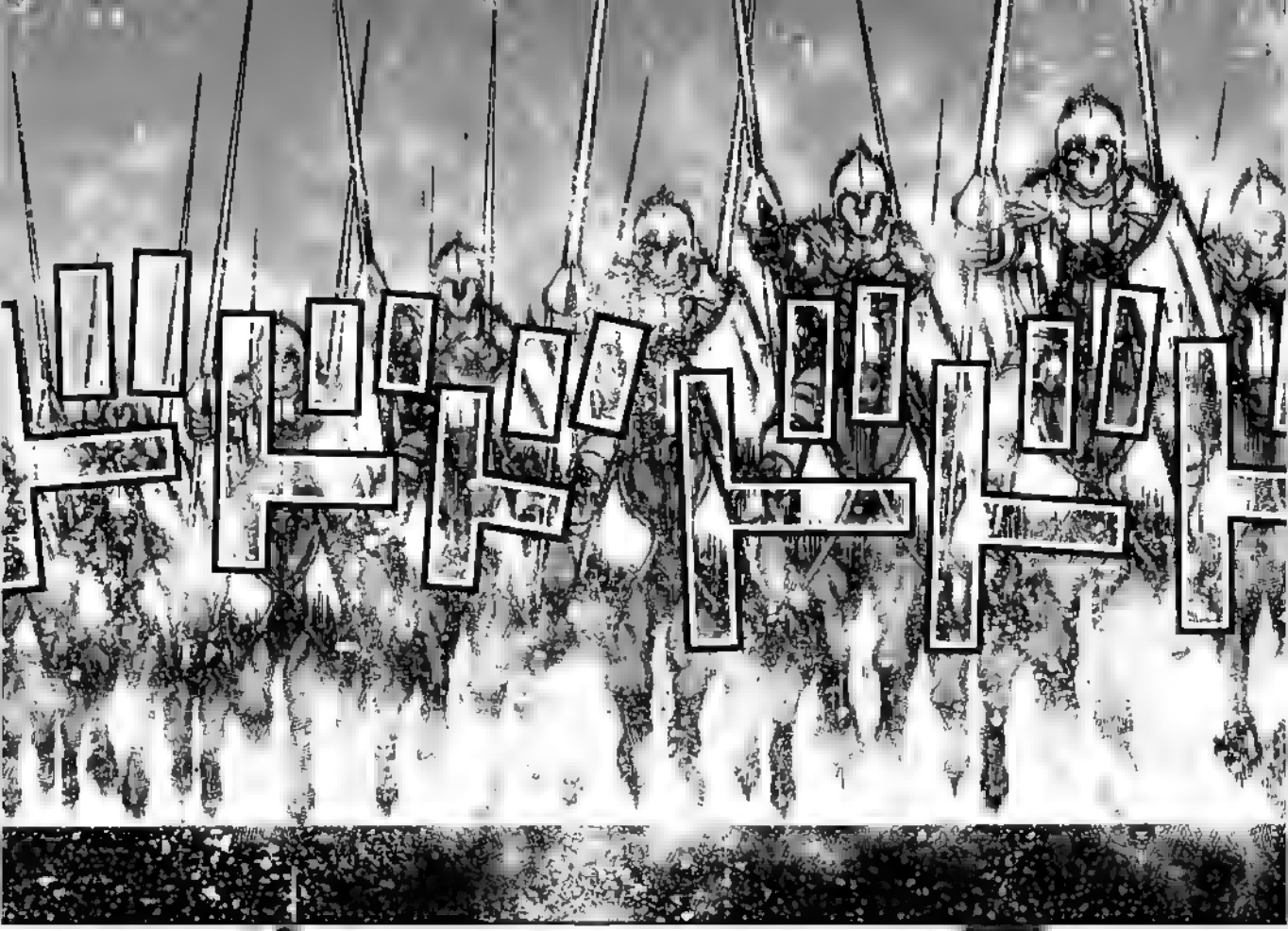
……

やはり
少ないな…
だがこちらを
軽んじている
訳でも
なさそうだな
我らの射程から
絶妙に外れている
魔術防壁も
随分と厚い
あれでは我らの
矢は通らんな
フィグリア城での
戦闘は解析されて
いるということか
おそらくは
転移による奇襲も
無理だな
敵陣全体に転移妨害の
魔法陣が組まれている
こちらに
攻め込んでくれば
背後は取れるが
騎兵はそのまま
突破するだろうな
じゃあ相手の
騎兵を歩兵で
止めないと
いけないんだね
…あっちの
騎兵は四百
こっちの
歩兵は千六百
四倍か…
…抑えきれる
かな


無理だろうな
錬度が違いすぎる
え？
案ずるな策はある
ドドド



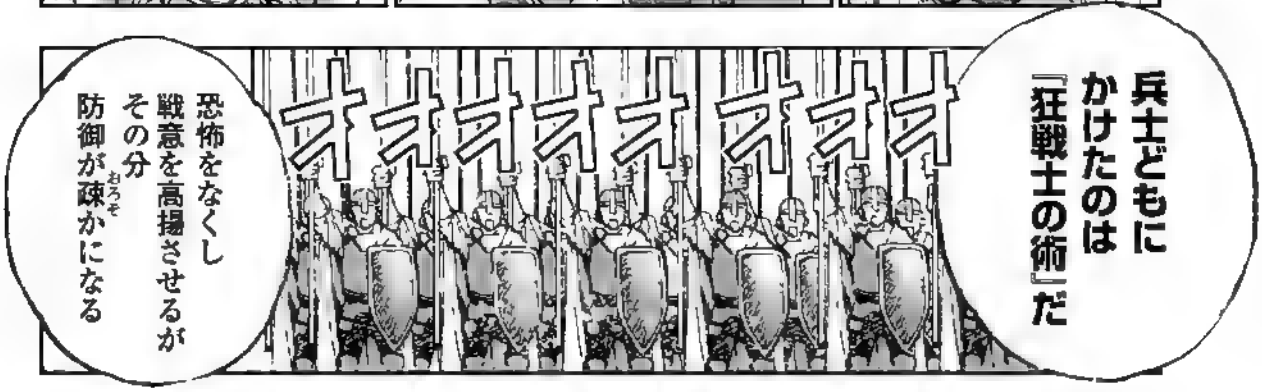

うわ…！
……
ひ…！
い…
恐れるな！



鎧に身を包み
槍を持とうと
所詮は人の子
地獄の悪魔と
どちらが恐ろしいか
汝らが背を
守るものを
雄と思うておる
千の魔術を操り
万の魔物を
従える魔王ぞ
さあ
我が兵どもよ
胸を張れ
腹に力を入れろ！
そして
あの
愚か者どもを
八つ裂きに
してやれ！

ぐるぐる
ぐるぐる
ぐるぐる

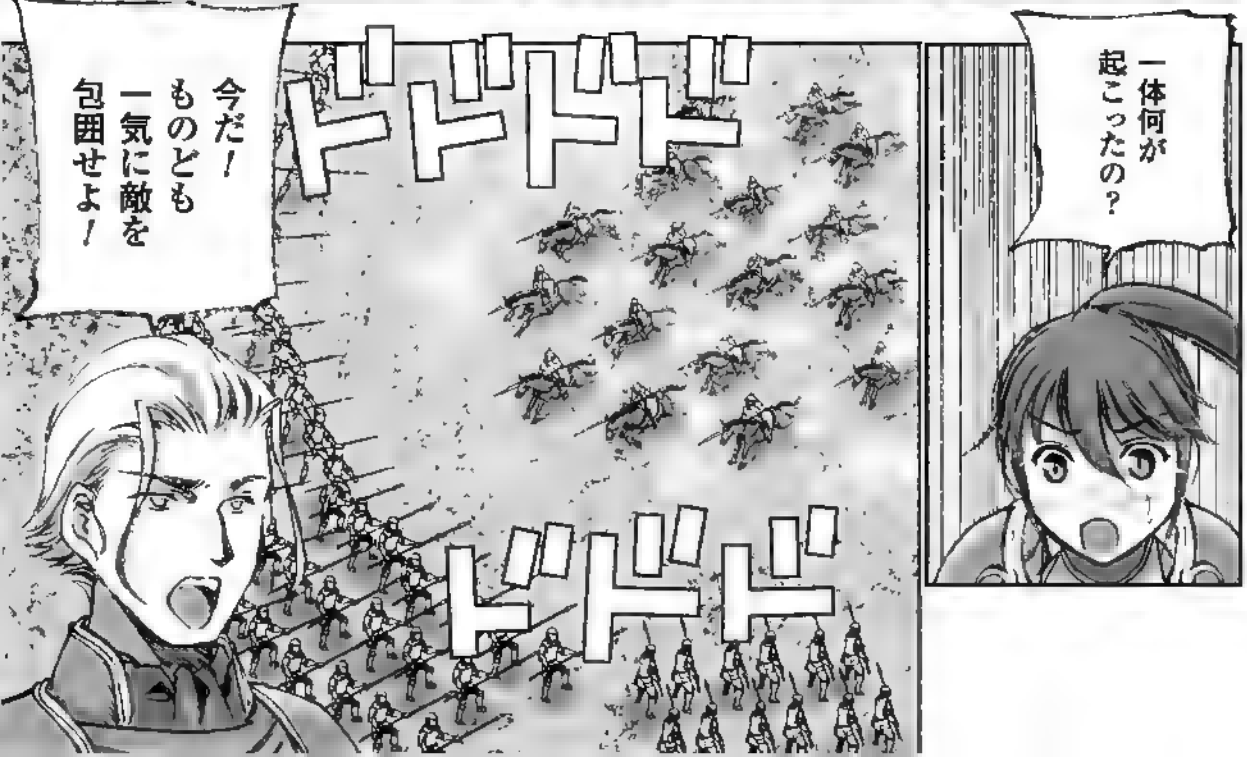
おー!!
なんで
お前まで
かかってるんだ
ちん
あう
あ
あれ?


兵士どもに
かけたのは
『狂戦士の術』だ
オオオオオオオオ
恐怖をなくし
戦意を高揚させるが
その分
防御が疎(おろそ)かになる

…よし いまだ
『やれスピナ!』

ゴゴゴゴ

ゴゴゴゴゴゴ ゴゴゴゴゴゴ
……


一体何が起こったの？
ドドドド
ドドドド
今だ！ ものども 一気に敵を包囲せよ！

ドドドド

ドドドドドドドド

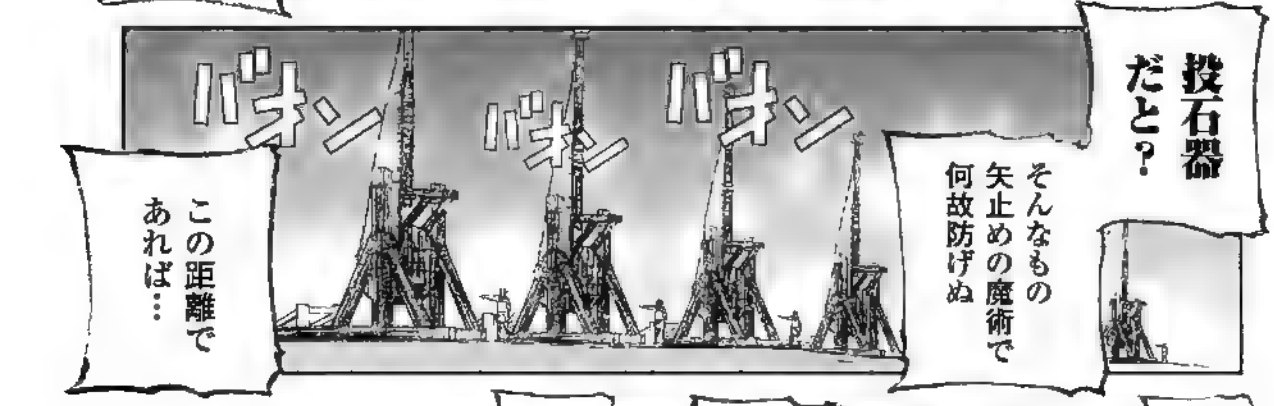
オオオオオオオオ
実は
この辺りまでは
ダンジョンの
第一階層が伸びている
そこで
コボルトどもを
操り 地下から
巨大な落とし穴を
掘ってみた

そして
ダンジョンと
繋がって
いるのだから
ゴオオオオ
当然そこには
伏兵を用意してある
さすがに馬ほど
早くは駆けぬが
歩兵が数秒も
時間を稼げば
充分…食い殺せる
ギャッ
ガッ
退路を断たれた
騎兵は前へ
進むしかない
…！
おかしい
騎兵は戦線を
右往左往するだけで
ろくに槍を振るいも
しないだと…？

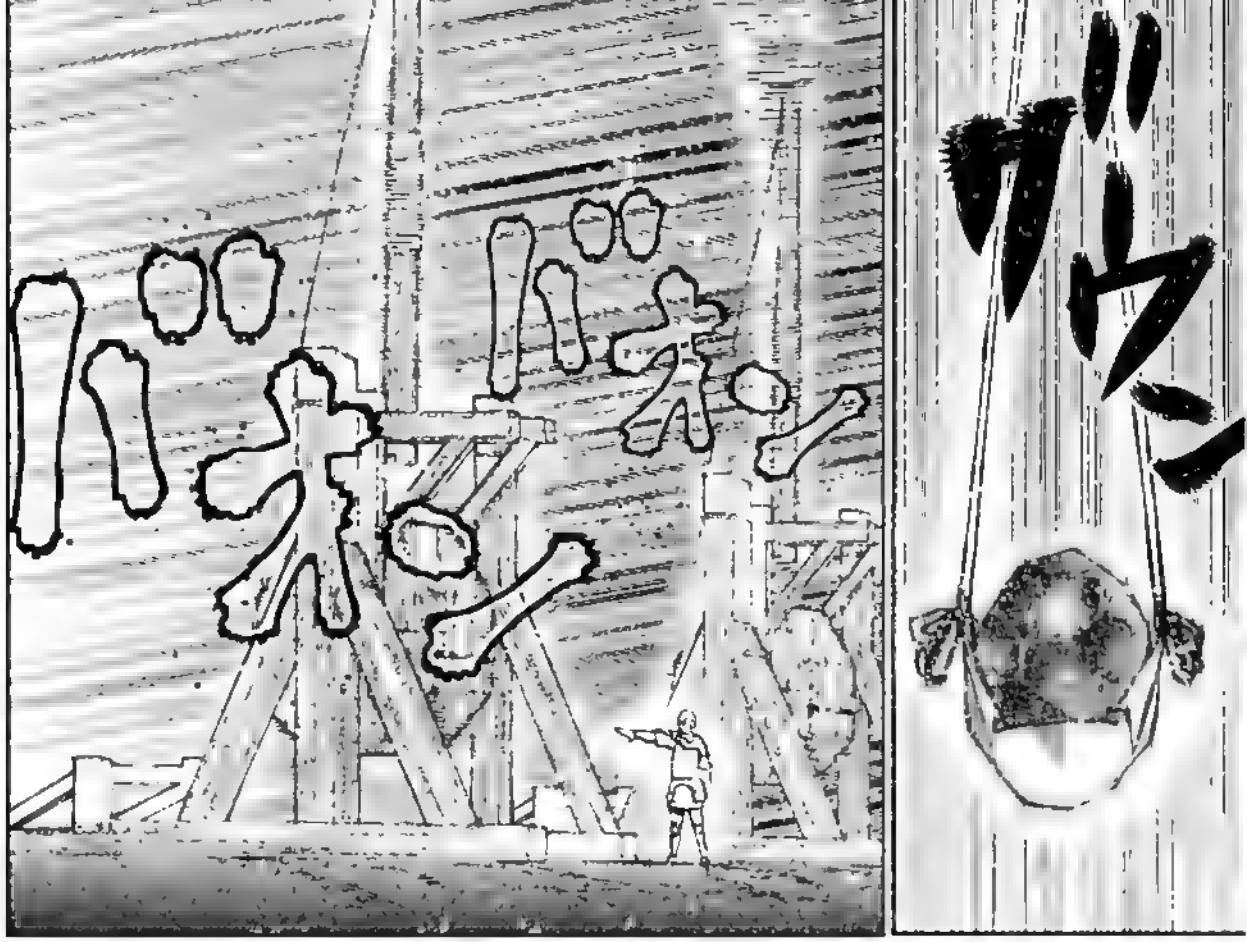
まさか……！
!?
…スピナ！
今すぐ騎兵の
死体を調べろ！
お師匠様
……！
人形です！
これは
騎兵じゃない…
…銀に塗られた
ただの人形です！
なんだと！
く……！
全軍
退却！
!!
ドドドドーン

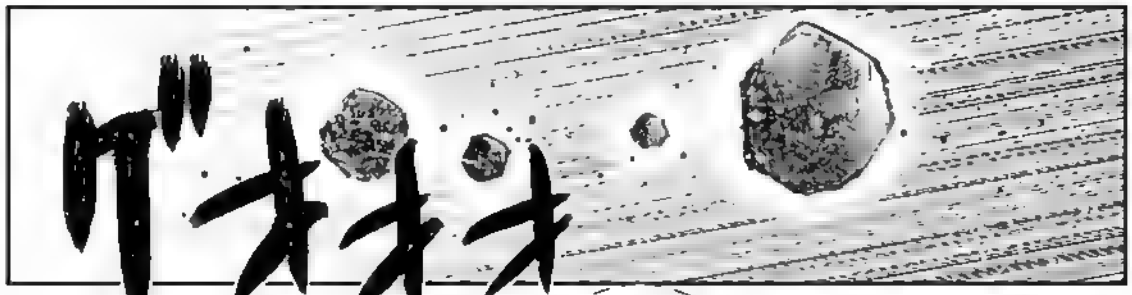
ドン ドン
あ

一体
なんだ!?
主殿
投石器だ
投石器で
石を投げている


投石器
だと?
そんなもの
矢止めの魔術で
何故防げぬ
バオン バオン バオン
この距離で
あれば…

これは…
…鉛(なまり)か!
く…
「神から見捨てられた鉄」と
呼ばれる鉛は
一切の魔力も魔術をも
受けつけない…!
鉛で出来た弾は
防御魔術で防げぬ…!

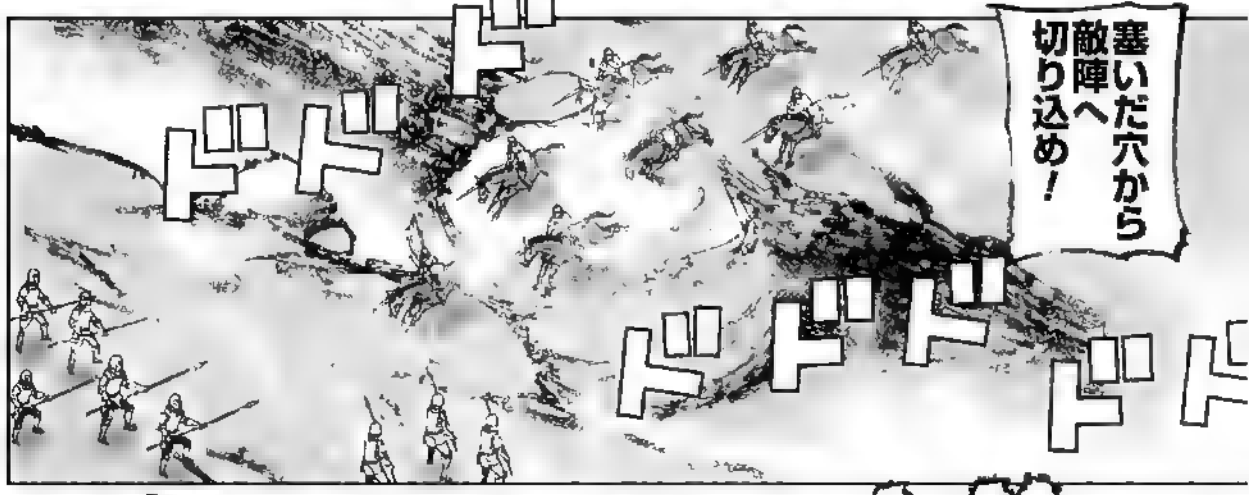

ゴウン
バキョ

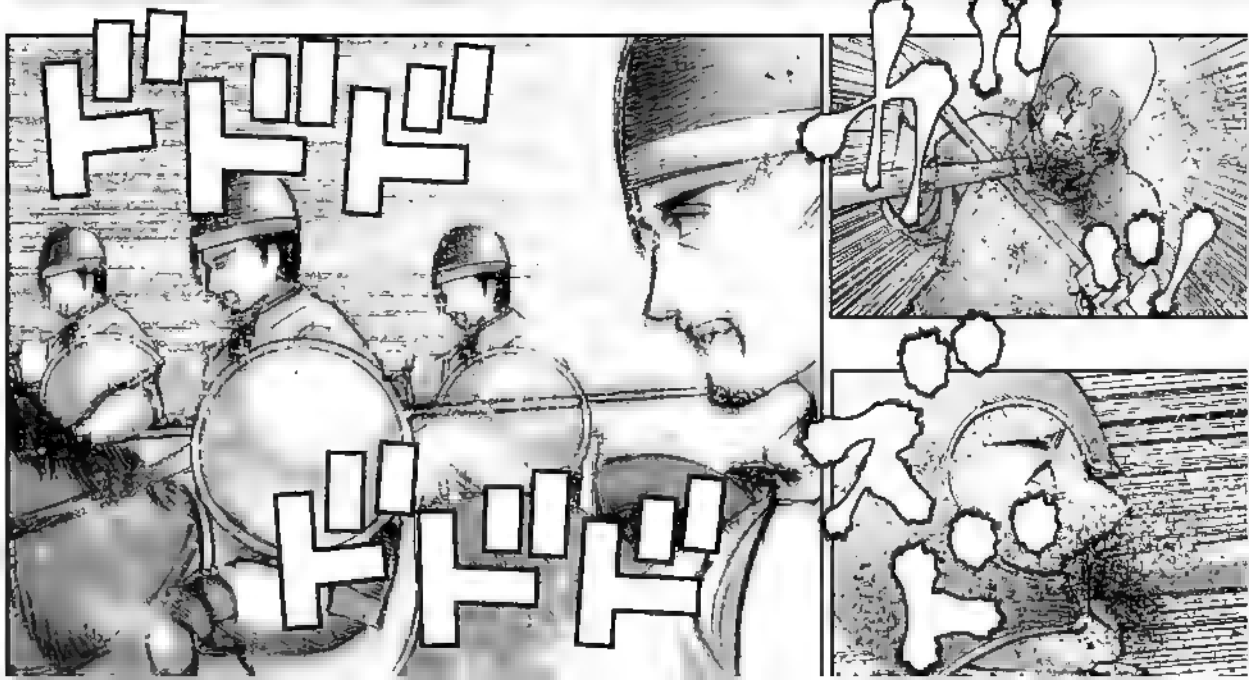

ゲオオオ

くああ！
ドオン
ドドドドオン
ぎゃあああ！
全ての騎兵がダミーという訳ではない
人形を負う馬を指揮し操る本物もいる
馬鹿げている…
…これほどの騎兵を犠牲にして勝利を得るだと？
このままでは我が歩兵は全滅しかねない…！

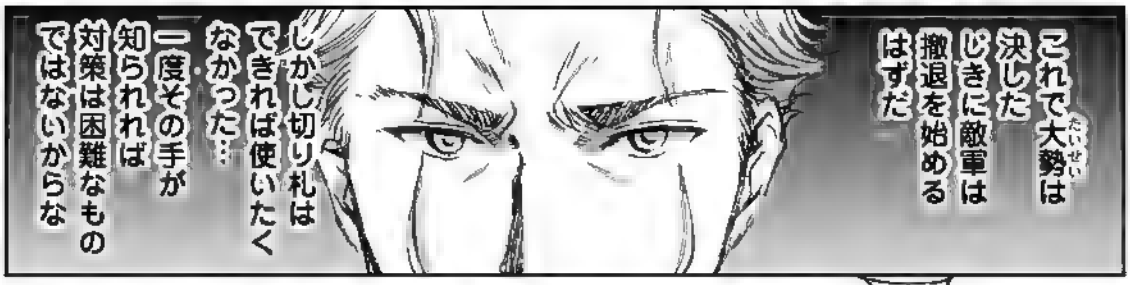
ミオ！やれ！
仕方ない…！これは見せたくなかったが…！
はい！オウル様！
バサ
バサ
バサ

今だ
騎兵隊
突撃！


塞いだ穴から
敵陣へ
切り込め！



投石器は
弓と遜色ない
威力と射程を誇るが
欠点が二つある
一つは扱いが難しいこと
厳しい訓練を積まねば
まともに扱えない
もう一つは
連射が利かない
ことだ
つまり
高速で突進してくる
騎兵隊には対処できない
さらに騎兵隊が
弓兵や魔術兵たちを蹂躙し
後衛の援護を潰すことで
敵騎兵も
優位性をなくす


これで大勢は
決した
じきに敵軍は
撤退を始める
はずだ
しかし切り札は
できれば使いたく
なかった…
一度その手が
知られれば
対策は困難なもの
ではないからな

…
なんだ
あいつは
単騎とは
いい度胸だ

!?
…
なんだこの爆音は…！
…
…
何が起きた
ズズズズ

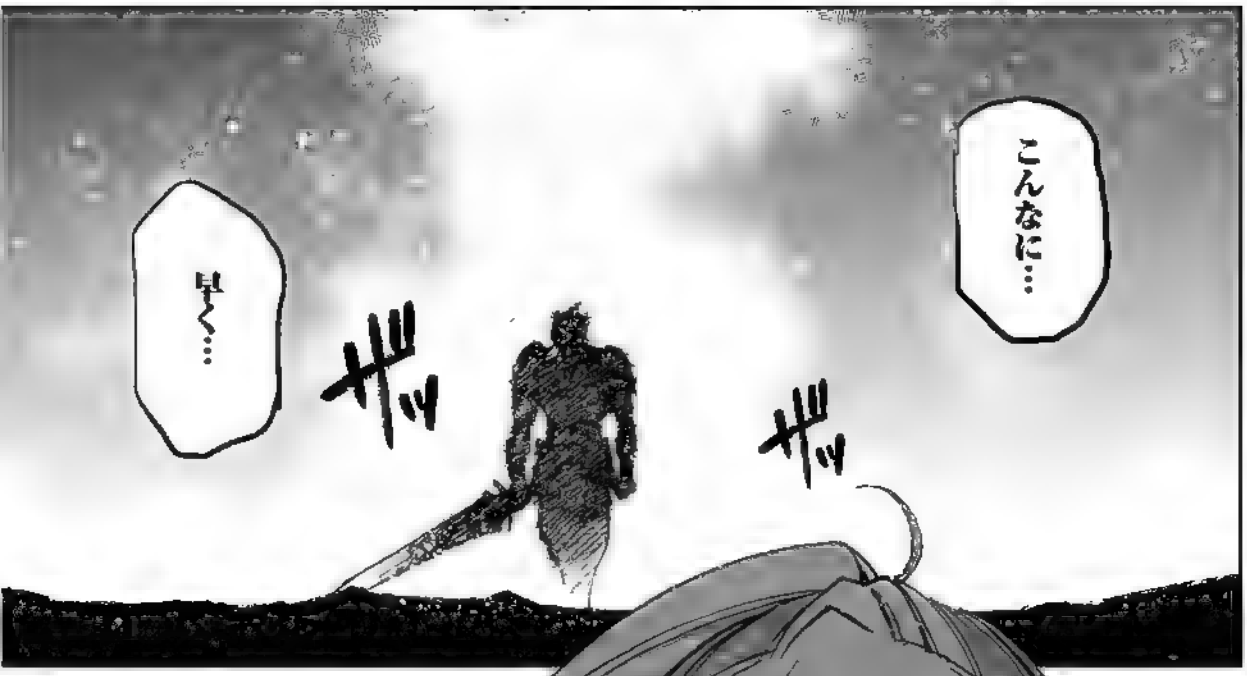
な……
『爆裂』の
魔術か!?
魔術兵は
何をやっている
対魔防御魔術で
防げ!
や
やっております!
ですが
アレは魔術では
ございません!

魔術じゃ
ないだと!?
馬鹿を言うな
大型兵器も
ないのに
人間を吹き
飛ばせる
ようなものが…

!?
あれは
『剣撃』だよ…

剣撃…
…剣で
人間を
吹き飛ばして
いる……!?
そんなことは馬鹿力の
オーガや巨人だろうと
まして人間に
できる訳がない…!

つまりは
人間ではない
その範疇から
外れたものの偉業
だというのか…！


こんなに…
早く…

出てくるなんて…

Story23 End

『鉛の英雄』
ザイトリード

Step.24
一騎当万 傍若不当と
形容される彼は
英雄王ウォルフの息子であり
自身も比類なき
英雄であるにもかかわらず
あまりその存在を
知られてはいない
それは彼が父のように
戦に好んで出ることはなく
主に辺境での怪物退治や
内乱鎮圧の任に
就いていたことと

その身に受けた
『鉛の呪い』による

すなわち
あらゆる魔術を
受けつけず
あらゆる魔術を
使うことができない

受けつけないのは
攻撃魔術だけではない

傷を負っても
回復魔術はおろか
秘薬すら効かず

戦場に出ても
伝達魔術による
状況報告さえできない

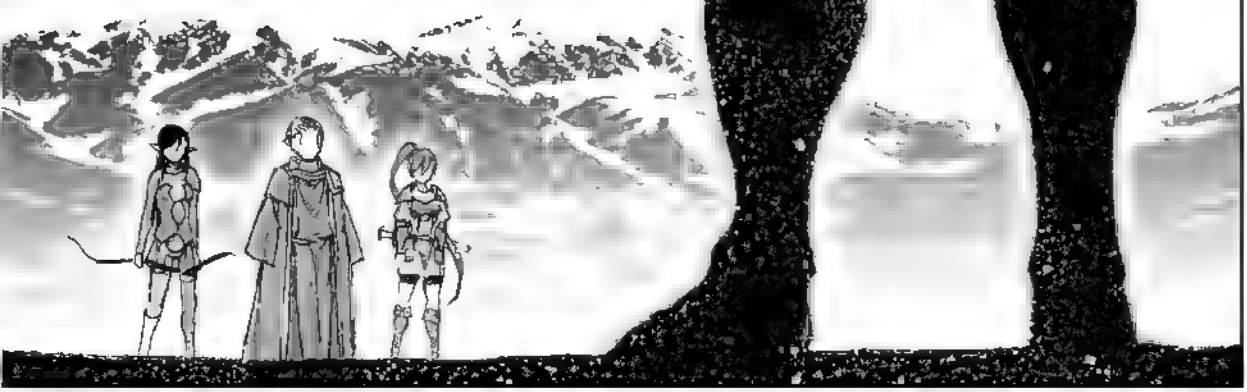
どんな奇跡が
込められた名剣も
彼が握れば
鉄の塊になり
神の祝福も
彼には通じない

そして
その呪いは
彼自身が
己にかけたものだ

魔術を
惰弱なものと
切り捨て
否定する

その愚直なまでの
無骨さゆえ

父王よりも
武勇に秀でると
いわれながら
広く名を
知られることなく
辺境で戦い
続けていたのだ



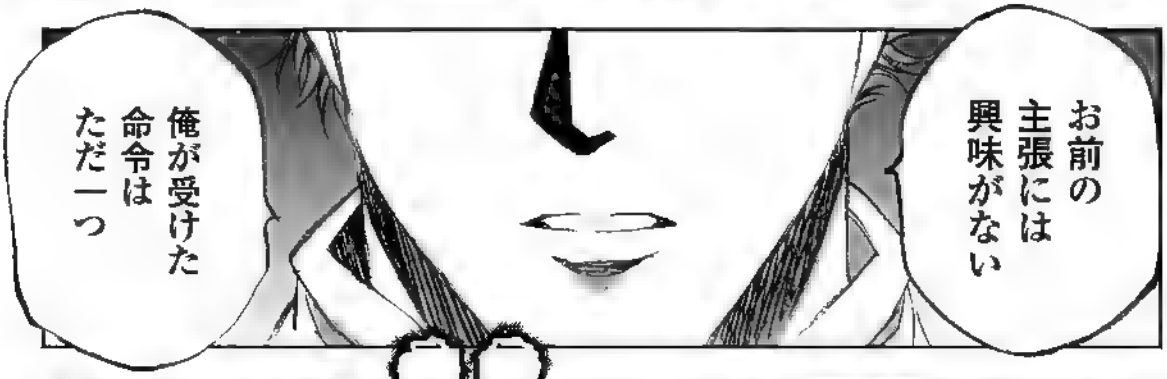
貴様が
魔王
オウルか

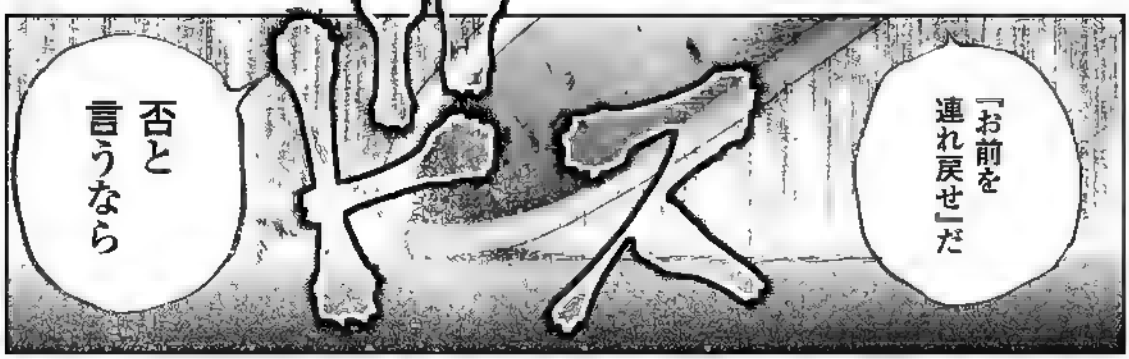
いかにも
お前が『鉛の英雄』
ザイトリードか
噂に違わぬ
剛腕だな

そうだ
俺は
ザイトリード・
レイヴァン・
ル・エラ・
グランディエラ
妹が世話に
なったようだな

あっさり真名を
名乗るとは
…
呪いをかけてみたが
全く効果がない…
どんな魔術も
通じないというのは
噂ではないようだ
ぐぬぬ
ユニス
帰るぞ
お兄様…

わたくしは
お父様の
なさることに
賛同できません
異民族
とはいえ人は人
それを
ユニス

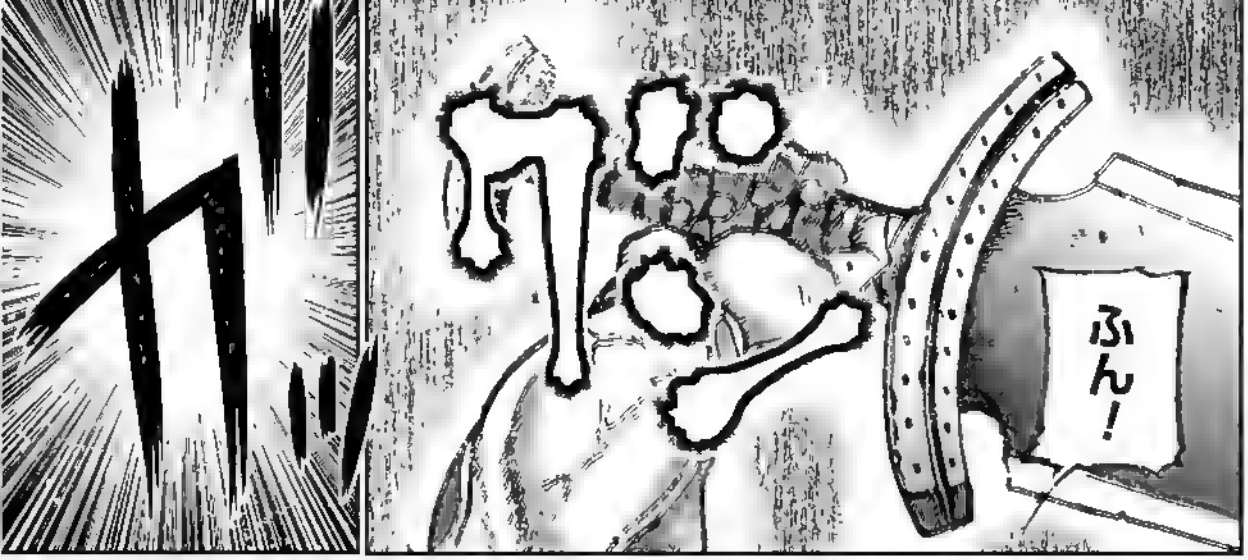

お前の
主張には
興味がない
俺が受けた
命令は
ただ一つ

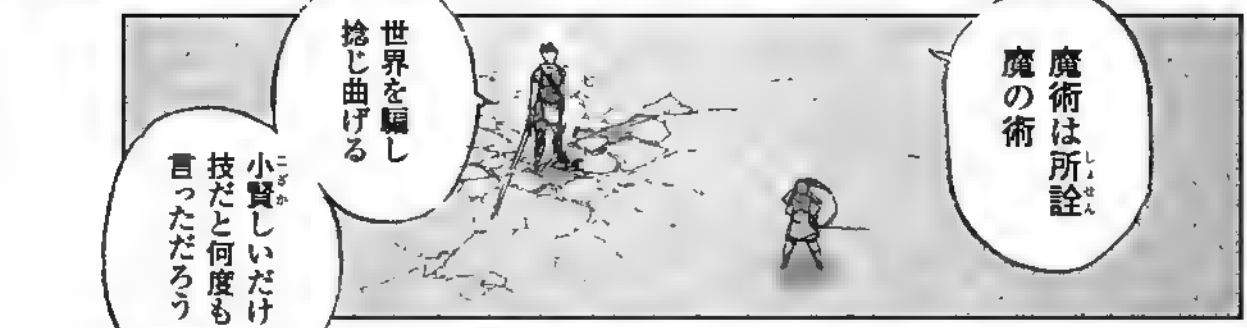

『お前を
連れ戻せ』だ
否と
言うなら

力ずくでも
連れて行く
望む…
ハキッ

ところだぁっ!!
ゴゴゴゴゴ
……

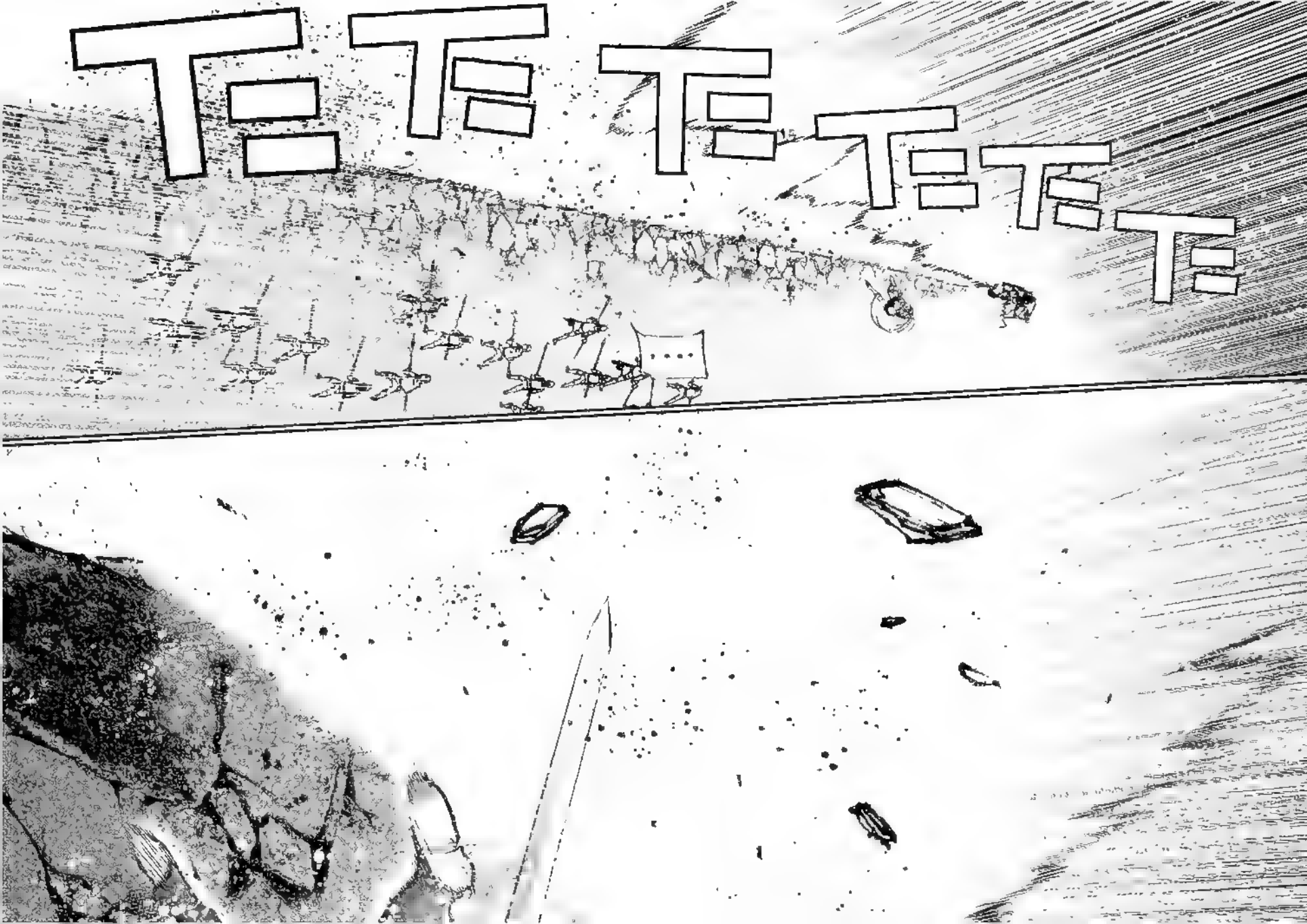
く…
ああ…
まだこんな児戯に頼っているのか
あああ


ふん！

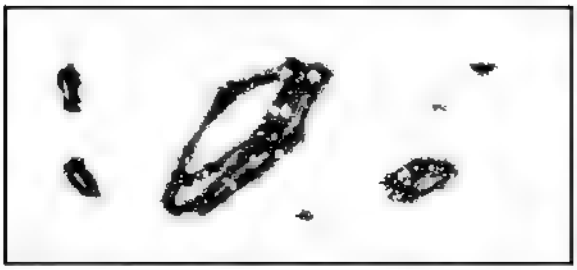

魔術は所詮（しょせん）
魔の術
世界を騙し
捻じ曲げる
小賢（こざか）しいだけの
技だと何度も
言っただろう

真の力
というものを
見せてやる

くっ


TE TE TE TE TE
...

ゴオオオ
うおおお
ぬああ！



なんという剣圧…！

ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ

ナナナ
ナナナ

ゴオオ
……
やあ！
ええええええい！

なんという
凄まじい
攻防……!!
ガ
ガ
ガ
ガ
ガ

これが英雄同士の
本気の戦いか……!
速すぎる……!
矢の狙いを
定める隙
すらない……!

諦めろ
お前は俺には
勝てん

回復魔術か…
だが
二対一なら
どうだ？
…確かに
そうかも
しれんな
…くだらん
そんなことで
勝てるつもりか
ではこれでは
どうだ
!?

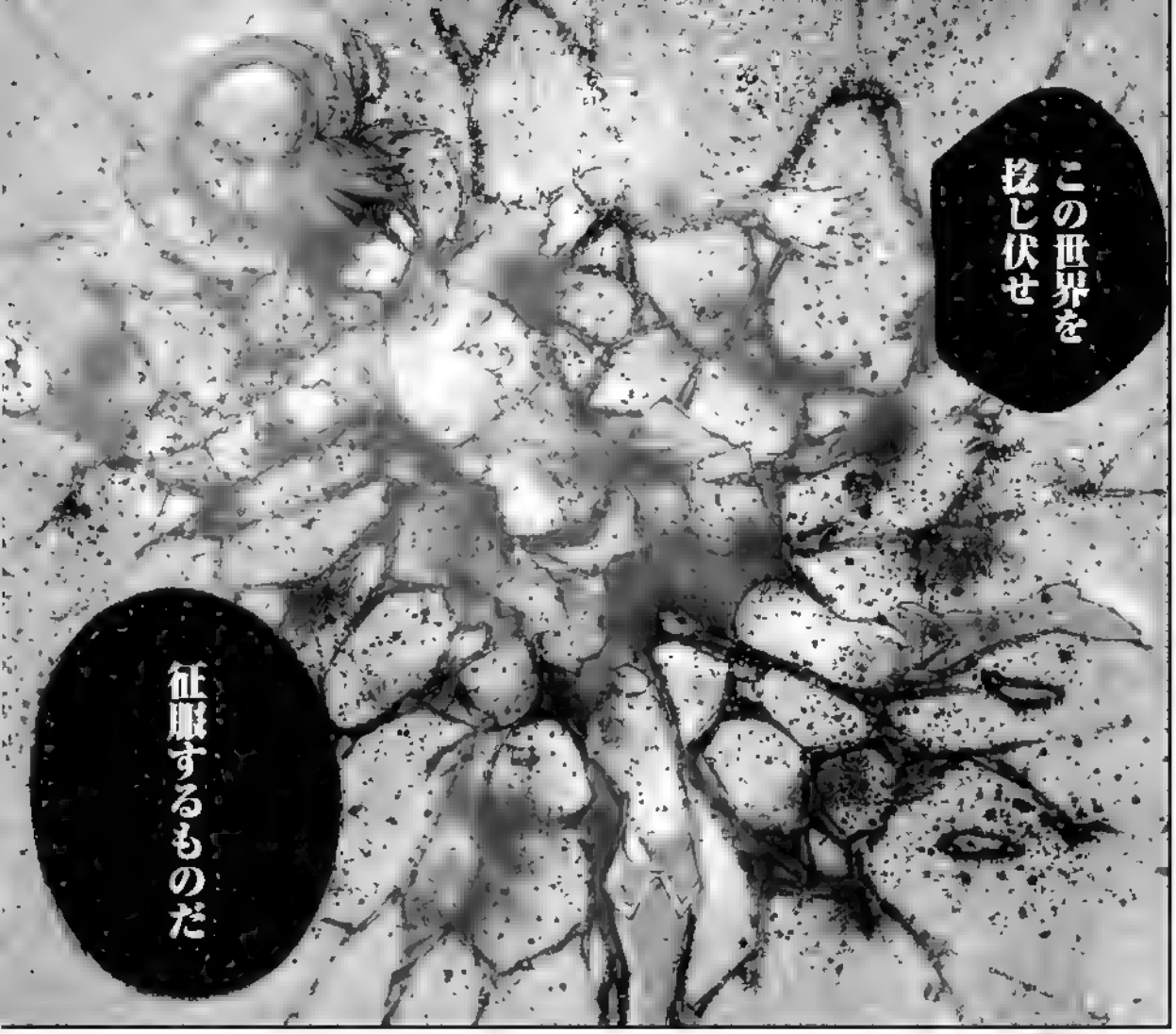
!!
ゴッ
…
俺を攻撃すれば
その隙を
ユニスが突き
ユニスを
攻撃すれば
その傷を
俺が治す

小賢しい
真似を…
確かに児戯
かもしれん
さあ比べると
しようか
…だが
お前はこれに
勝てるか？
お前の力が
尽きるのが
先か
形代(かたしろ)が
尽きるのが
先か
…いいだろう
ならば本気を
見せてやる
ドス

!!
消え…！

は…や…！
ガッ
は

英雄とは


この世界を
捻じ伏せ
征服するものだ

騙し
掠め取るだけの
魔術とは
格が違う
とはいえ
俺の本気を
引き出したことは
褒めてやろう

褒美に
痛みなく
あの世に
送ってやる
……

…！
だ…
め…
!!

な…い
さ…せ

ふん！
ズン
ズザザ
まだ意識があるか…
…さすがは我が妹だな

楽に死ぬこともできないのは英雄の性か…

なんということだ…
大剣は奴にとって武器ではなく枷なのだ
重みを備えた武器ならばその重み以上の力は出せない…
つまり生半可な魔剣など遥かに凌駕する力を持つ『鉛の英雄』はその両の拳こそが最強の武器なのだ

……
これ以上攻撃を続ければ妹は死ぬ
連れ帰るには殺しても良いと言われてはいるが…
殺さずに連れ帰れるならそれに越したことはない
グイ

不本意だが
貴様の命
しばし
預けておく

それまで
束の間の生を
楽しんでおけ

■ブランシュ平原の会戦■
フィグリア・魔王軍
死傷者数　約三〇〇
グランディエラ軍
死傷者数　約一五〇〇
<結果>
グランディエラ軍の撤退により
魔王軍の勝利
Step24 End

魔王の始め方

HOW TO BOOK ON THE DEVIL

魔王の始め方

オンラインゲーム限定シリアルコード

『魔王の始め方』がDMM GAMESにてオンラインゲームとして配信中!
下記シリアルコードを入力すると、魔紅石100個が貰えちゃうぞ!

漫画「魔王の始め方 THE COMIC 4」版
シリアルコード

sukisukidaisuki

上記シリアルコードを
「魔王録」→「シリアルコード入力」よりご入力ください。

シリアルコード有効期限 2018年12月31日 23:59

※成人向けゲームとなります。18歳未満はアクセスできません。
※シリアルコードを不特定多数が閲覧できるWebサイト、掲示板などへの転載を禁じます。
※このアイテムはお1人様1回となります。複数購入された場合でも、1回の受け取りとなります。

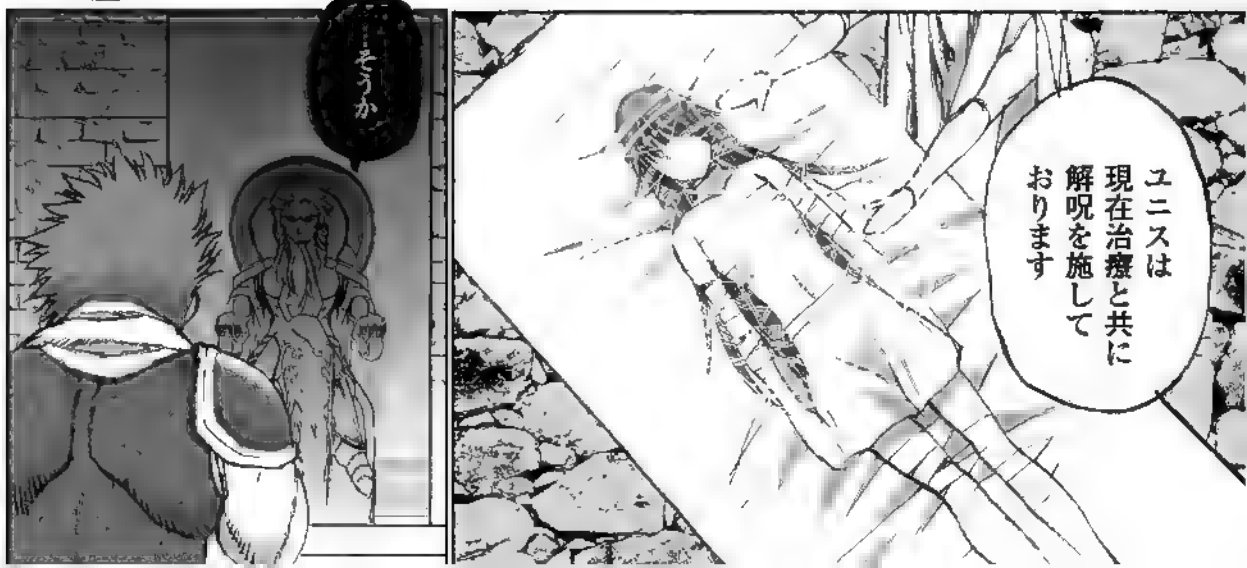
公式サイト 魔王の始め方オンライン 検索

Step.25
…負けたか
はい
伏兵は予想していましたが
落とし穴そして高高度からの落石攻撃は予定にありませんでしたので
…敗北と言ってよいでしょう

魔王に会ったと言ったなどう思う
小物です
…王が相手をする程の者ではありません

前情報のとおり本人に戦闘能力はほとんどない様子
知略智謀であればあのキャスという女の方が上でしょう

魔物の軍はどうなのだ
フィグリアの弱兵よりはよほどの脅威ではありますですが正面から当たれば我が軍の敵ではありません


ユニスは現在治療と共に解呪を施しております
…そうか

日を覚ましたなら
魔王を討たせよ

…
もしそれでまた魔王につくようであればその時は殺せ

しかし
他者の生き死になどという些事で心を歪めるな
お前も知っておろう英雄がいかなるものであるか
お前は剣の腕では俺を凌ぐ

だが
その甘さは命取りとなるぞ

……
肝に銘じておきます

ユニス

…お兄様
はい
解呪は上手くいったか
万事滞りなく
妙な暗示も掛けられていたようでしたのでそちらもあわせて解除いたしました
……

ユニス
お前に命が下った
魔王オウルを討伐せよ

……
…拝命いたしました

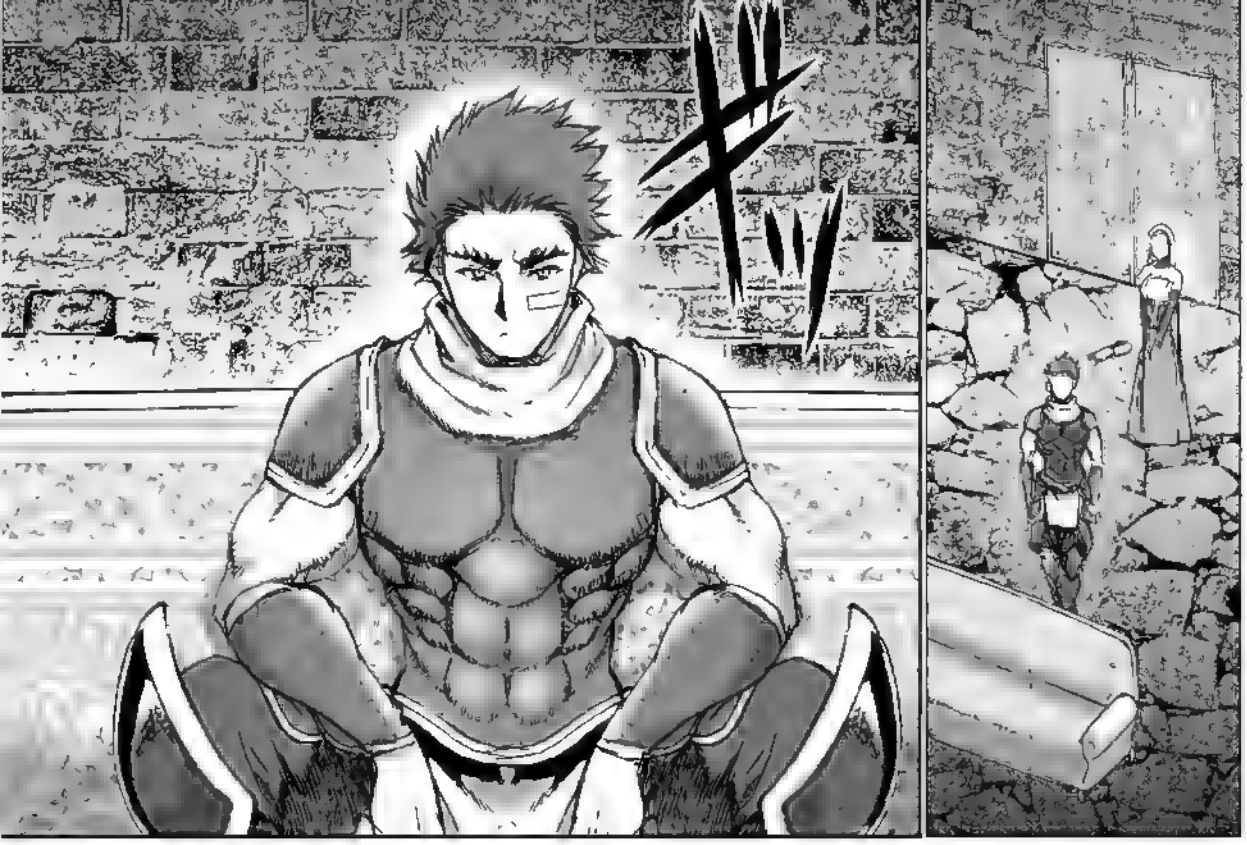
為せなかった
場合は
俺がお前の
首を刎ねる

はい

…以上だ

姫様…
…ザイトリード殿下は
大丈夫だよトスカン
呪いや暗示を解いてくれたお陰で
頭もスッキリしたしね
あたしだってちゃんとわかってる
英雄がどういうものなのか
…決着をつけてくるよ

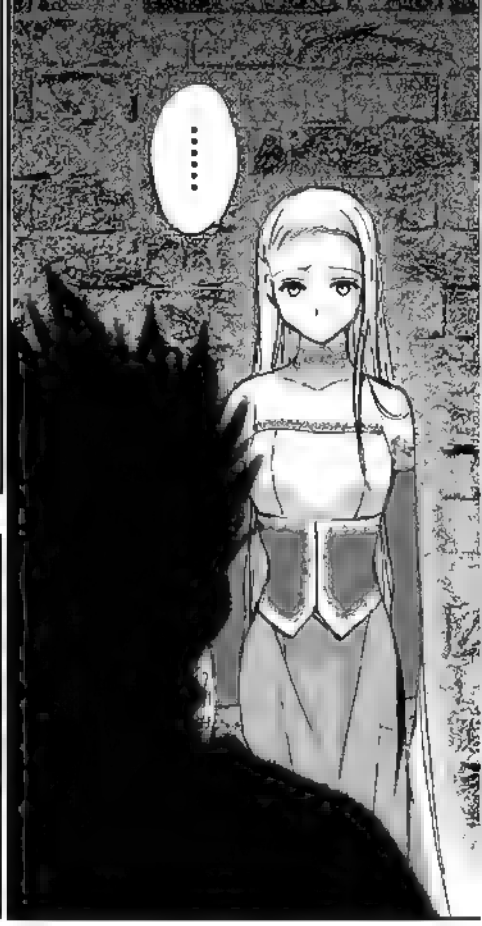
今帰った
お帰りなさい
お疲れのようね
…ああ
ザイトリードの妻
ヒルダ

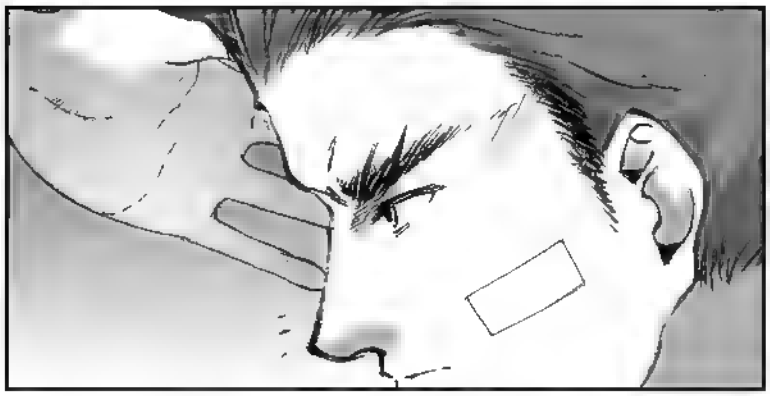


愛しい妹を
死地に赴かせ
優しい声を
かけてやる
ことすら
かなわぬとは

悔いれば
キリはない
しかしそれでも
我らは生き方を
変えることはできない
それが英雄という
ものだからだ

ザイトリード…


……



ヒルダ…
剣の腕も
魔術の才も
何もない平凡な娘…

しかし
彼女の存在は何よりも
俺を癒してくれる
そうだな
心配することなど
何もないはずだ

ユニスが
オウルを殺し
凱旋する

俺に及ばぬ
とはいえ
彼女もまた
英雄の星の下に
生まれた娘だ

小賢しい
魔術師ひとり
倒せぬはずがない

あ
キッ
キッ
あ
あ
キッ
ん
は
ズン
ギッ
ズン
ドチュ
あ
ドチュ
ズン
ドチュ
ズン
あ
ドチュ
ドチュ
ドチュ
ドチュ
ドチュ
ドチュ

ふー
ってもう！
なんでわたしばっかりやらせるのよ！
きゃあ
お前がご褒美をくれと言うから相手している
そういうこと言ってるんじゃない
ユニスを連れてかれてショックなのはわかるけど…
ショック？
俺が？
ち…違うの？
さあな
結局ユニスの胸騒ぎは的中した訳か
やはり英雄の運命には抗えんということか
おうるさま…
がちゃ
おうるさまおうるさま

どうした
えっとね
くもつのなかに
おてがみが
はいってたの
ねえ…ゆにす
どこいっちゃった
の？
……

…来てくれたんだね
オウル

わざわざ手紙を送って呼びつけておいてそれはないだろう

あたしが
オウルと戦う気は
ないって言ったら
信じる？
…ああ
信じる

お前も
知っているとおり
この身体は形代だ
リルや
スピナも
同様にな

ここで俺と
戦っても意味が
ないからな

ああ…
なるほどね
そ…そこまで
思いつかなかった

戦わずして
本体を
暗殺するなど
造作もない
だろう？
お前が本気なら
仲間を装い
ダンジョンに侵入

薄々ね
気付いては
いたんだ…
…はっきりと
わかったのは
呪いや暗示を
解いてもらった
後のことだけど

オウルが
色々あたしのこと
騙してたの
なんとなく
知ってた
…竜の背の上で
あたしを
突き落とそうと
してたのも

オウルってさ
人間不信だけど
人間嫌いでは
ないよね

――裏切られて誹られて
石を投げられて
世の中を憎み人間を憎み
全てを憎んで
滅ぼそうとする
奴隷が苦しんだり
死んだりすることを
なんて全然
気にも留めない
あたしが今まで
倒してきた
邪悪な魔術師は
そんな人ばっかり
だったよ

でも
オウルは
違った

随分
過大評価して
くれたものだな

そいつらは
頭が悪いだけだ
奴隷で
あろうと——

十全に
働かせたいなら
ある程度は
優遇してやるのが
もっとも
効率がよい

ただそれだけだ

うん

それも本心
なんだろうね

でもオウルは
やっぱり人間が
嫌いじゃないんだよ

無駄に
痛めつけたり

苦しませるのを
喜んだりしない

……

ねえ

なんで君は
何も信用
しないの？

人も

魔物も

部下も

仲間も

――自分自身で
さえも

…
何が言いたい

知りたい
だけだよ
なんでオウルが
そうなったのかを
あたしの
好きだった人の
過去を
教えてオウル
あなたが
討つべき
邪悪なのか
それとも
仕えるべき
王なのか

あたしに…
…そして
あなたを本当に
愛している人に
聞かせて
欲しい

ユニス…

俺が嘘をつくとは
思わないのか？
お涙頂戴の作り話を
するとは？

そこら辺は
あたし自身が
判断するよ
…っていうか
そうするなら
オウルは
わざわざ先に
そんなこと
言わないでしょ

……
いいだろう
これは…ただの
事実の話だ…

Scen25 End

Step.26

今から
七十年ほど
前のこと

プラエティという
今はもう
影も形も残らぬ
小さな国での話だ

これは
世にあふれている
つまらぬ真実…
ごく当然の成り行き

可哀相な子供の
話でも
心に負った傷の
話でもない

石が坂を転がるような
水が高き場所から
低きに流れるような
単純な原理の話だ

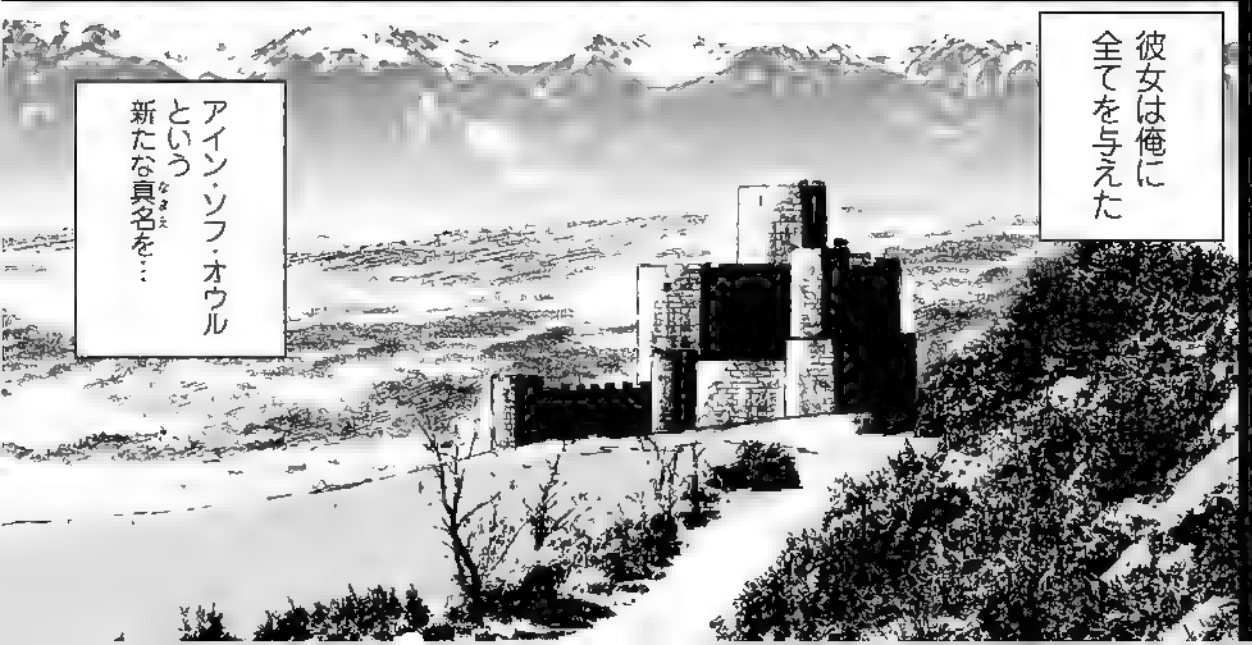
当時プラエティは
このフィグリアと
激しい戦争を
していた

俺はその戦で
家族を亡くし
乞食をしていた

戦争孤児か…

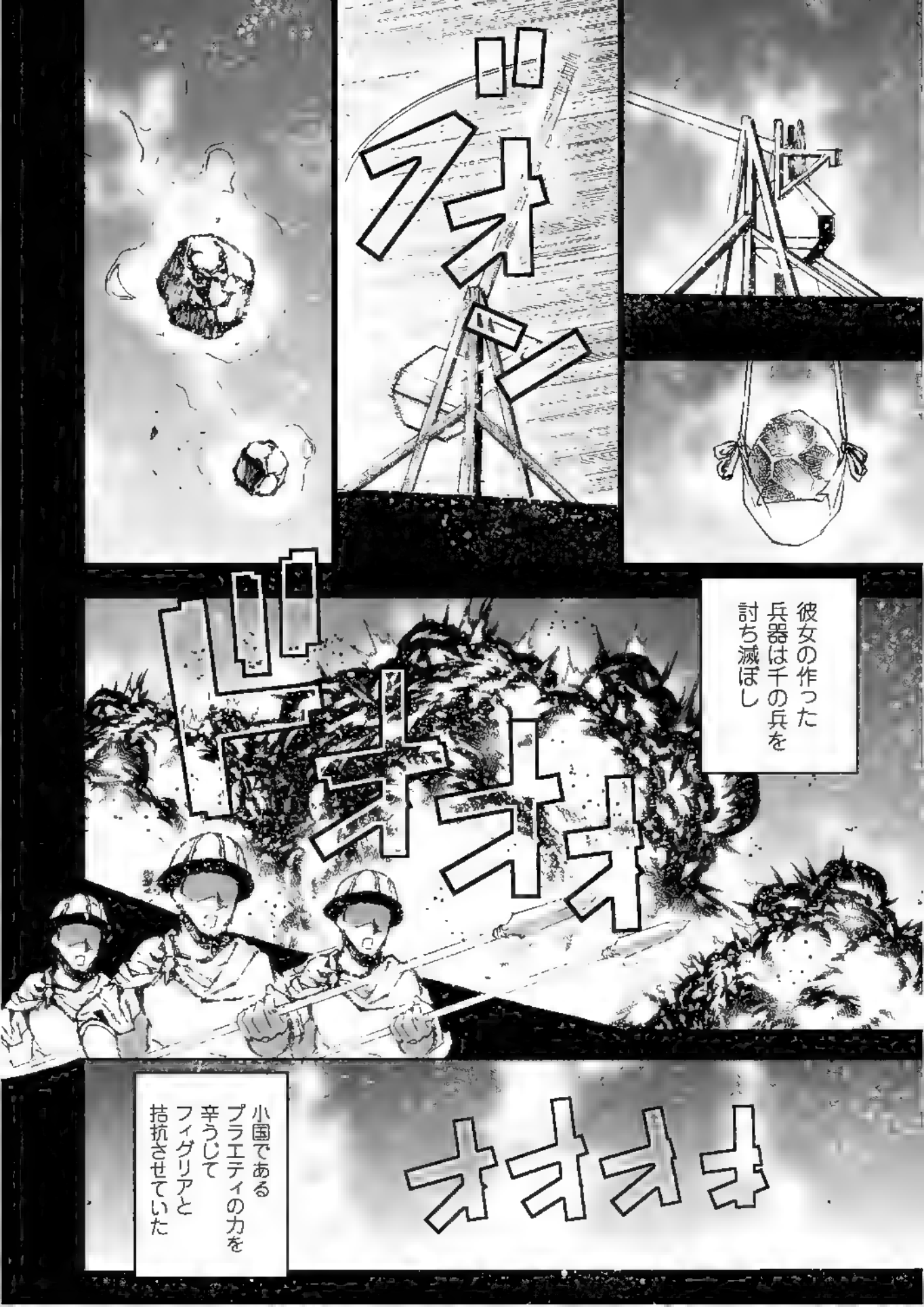
それを拾ったのが
ラディクス・
フルーメン
……
君 名前は？

テオドア…
俺の
魔術の師だ


彼女は俺に
全てを与えた
アイン・ソフ・オウル
という
新たな真名を…

知識
教養
家事
ぽんっ
魔術
家庭の
温かさや愛情
親としての愛
家族としての愛
男女としての愛…
…その全てをだ

彼女は俺の
母であり
姉であり
親友であり
恋人だった
…おいリル
なんて顔を
している
…
あ…あ!!
まさか
オウルの口から
愛なんて言葉が
飛び出す
なんて…
…えあ
ごごめん
煩い
黙って聞け
ラズは兵器の
開発をしていた
彼女は比類なき
付与魔術の使い手
天才だった


ゴオオ
ゴオオ
彼女の作った
兵器は千の兵を
討ち滅ぼし
ゴオオオ
小国である
プラエティの力を
辛うじて
フィグリアと
拮抗させていた

しかし彼女は
俺を拾ってから
変わった

戦争孤児を見て
どう思ったのかは
俺にはわからん

正直
彼女を恨んだ
ことなど
一度もないし

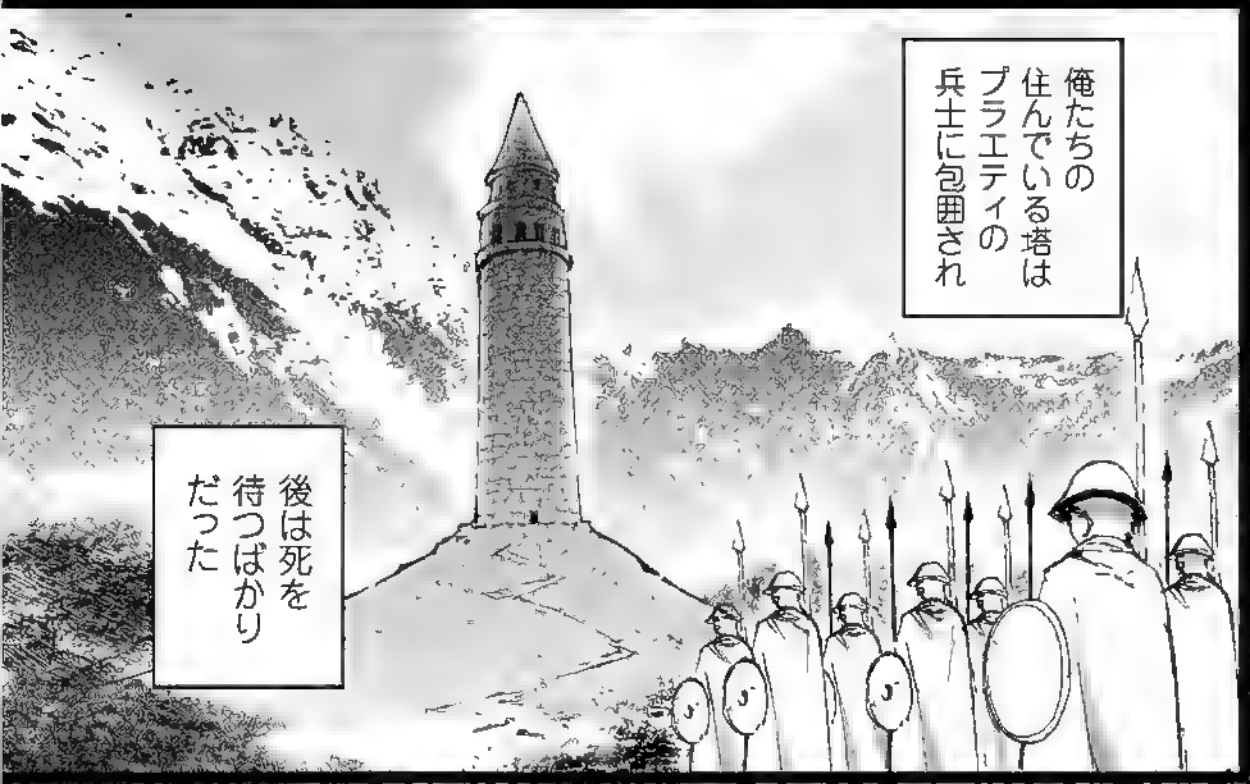
兵器の開発を
やめてくれ
などと言った
こともない

だがラズは
兵器の開発をやめ
国を敵に回した

プラエティを窮地に
追い込むばかりか
敵国(フィグリア)と内通して
いるのではないか？

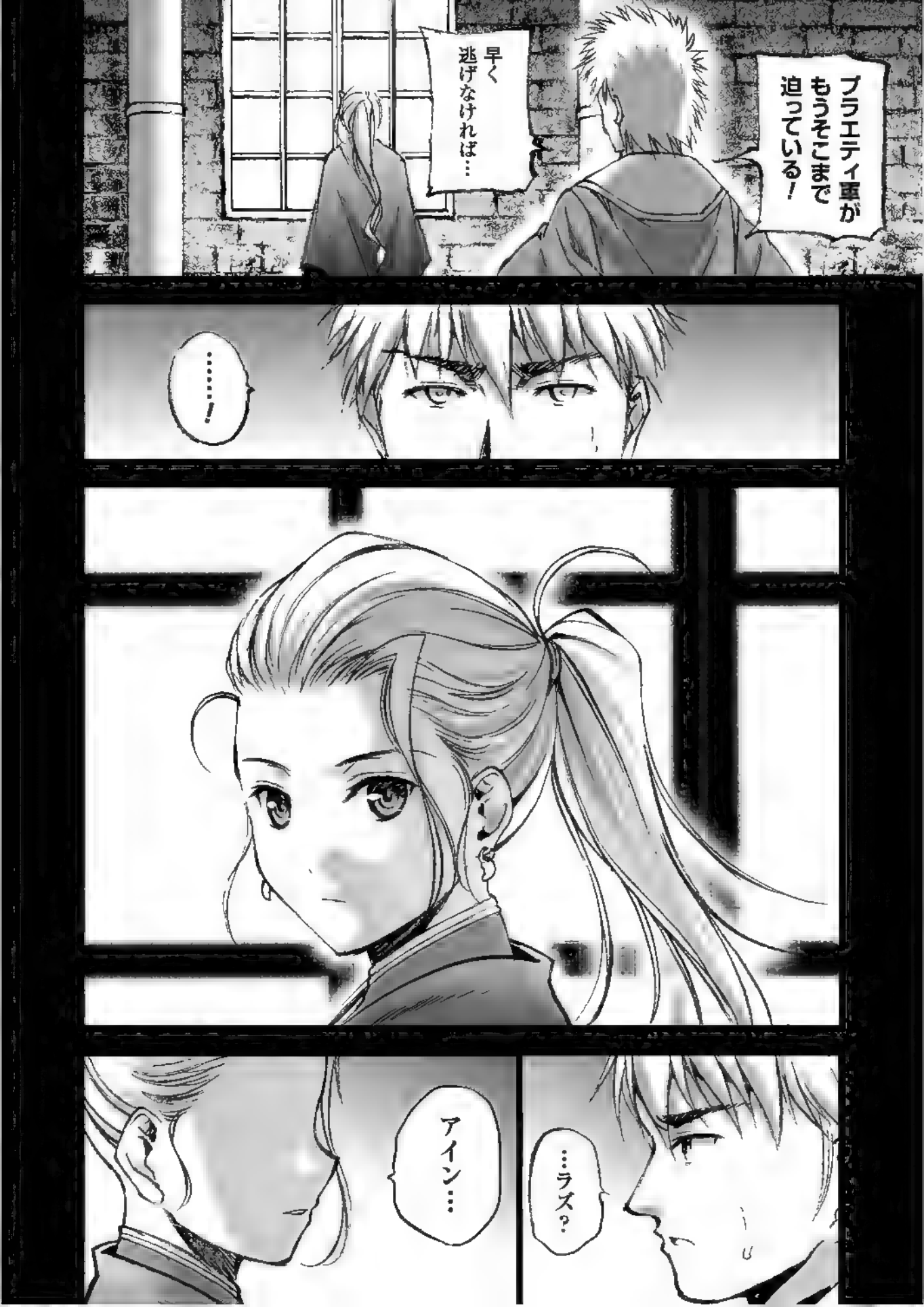
そう
疑われた
からだ

…


俺たちの
住んでいる塔は
プラエティの
兵士に包囲され
後は死を
待つばかり
だった

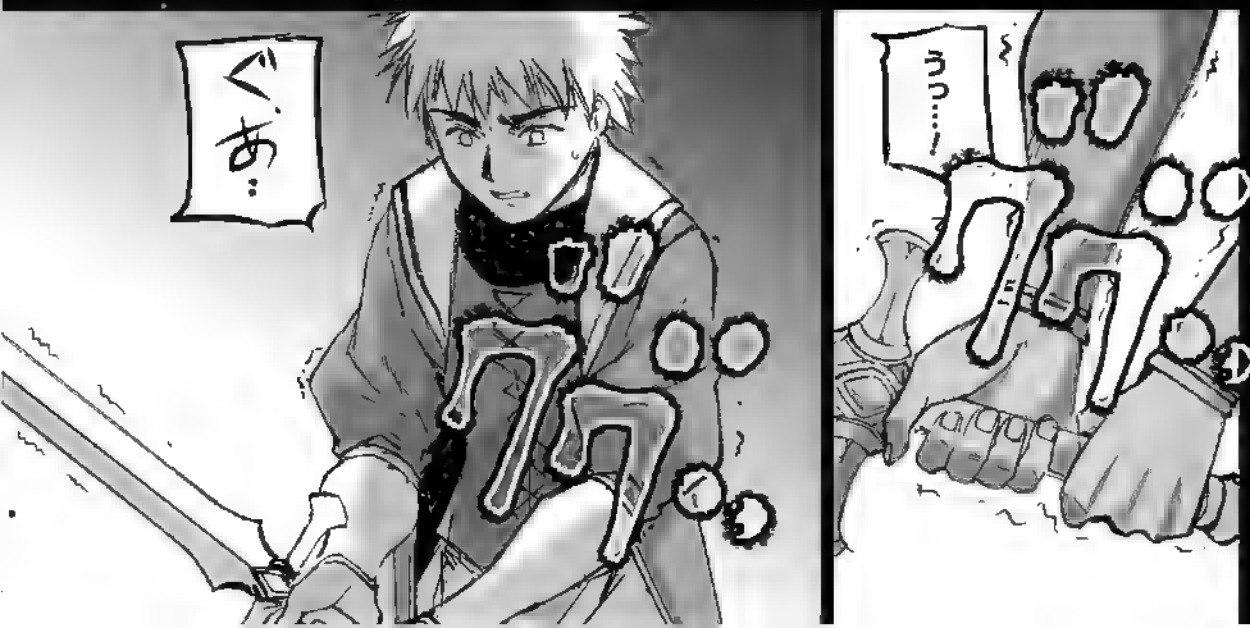
……

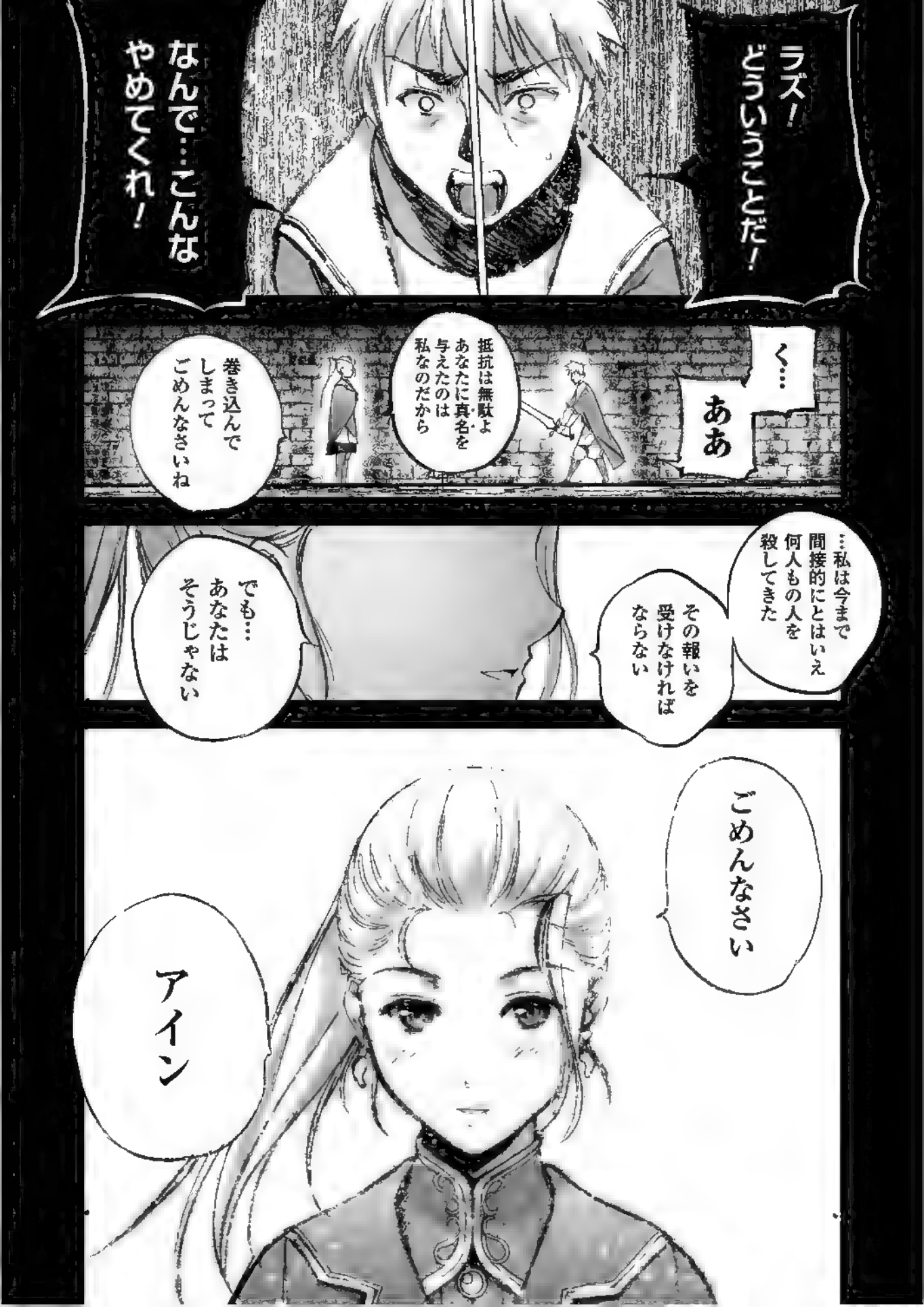
師匠(ラズ)
ラズ！
何をしている


ブラエティ軍がもうそこまで迫っている！
早く逃げなければ…
……！
…ラズ？
アイン…

『アイン・ソフ・オウル』
師としてあなたに命じます
私の首を刎ねそれを持って兵に投降しなさい

第一隊前へ突撃せよ！
反逆者ラズを捕らえよ！
オオオオ
オオオオ


うっ…！
ぐあ…


ラズ！
どういうことだ！
なんで…こんな
やめてくれ！
く…
ああ
抵抗は無駄よ
あなたに真名を
与えたのは
私なのだから
巻き込んで
しまって
ごめんなさいね
…私は今まで
間接的にとはいえ
何人もの人を
殺してきた
その報いを
受けなければ
ならない
でも…
あなたは
そうじゃない
ごめんなさい
アイン

ぐ…あ…！

や…！

どうして…！

め…！

ドドド

俺は誰よりも
ラズを愛していた

その愛に
自信があった

己の全てを
投げ打ってもいい

たとえ
どのような
目に遭おうと

彼女だけは
守り抜いてみせる

純粋で
世界を知らぬ少年は
そう信じ抜いていた

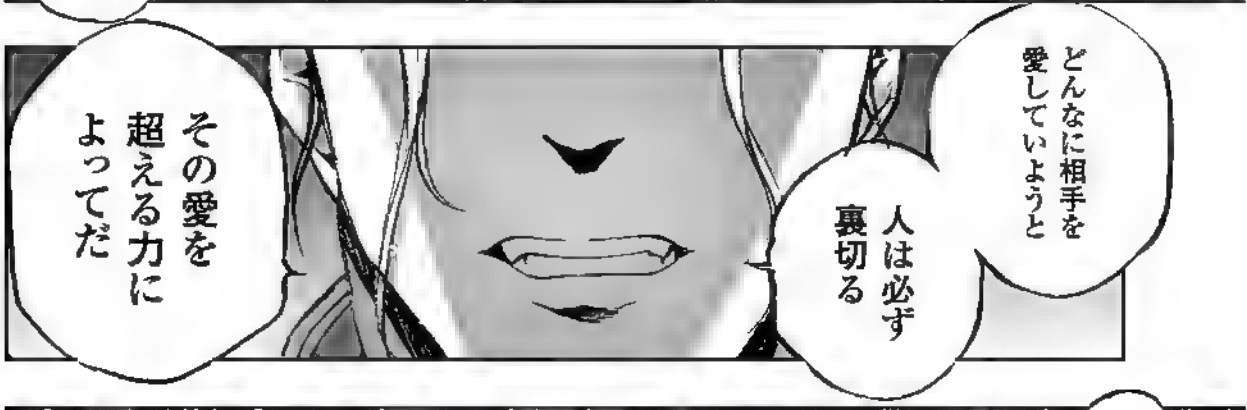
だが俺は粗末な命を
生き長らえさせた

自分の意思とは
無関係にな

…これは
単純な
事実だ

愛情の
素晴らしさを
否定する
気はない
信頼を
無意味なものだと
言う気もない

だが
それは
力によって
覆される
どのような
愛も絆も
圧倒的な力の
前には
無力だ


どんなに相手を
愛していようと
人は必ず
裏切る
その愛を
超える力に
よってだ

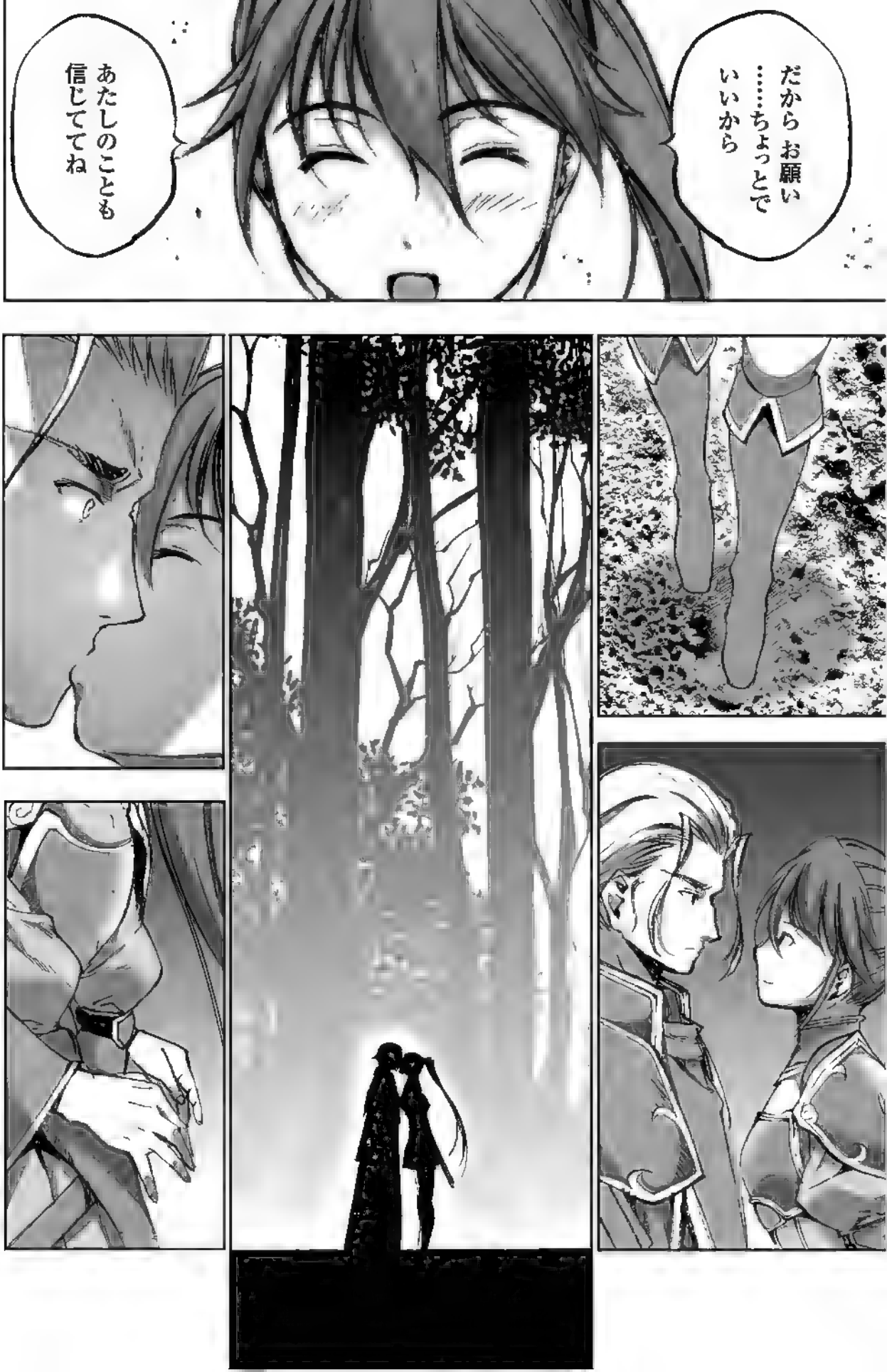
……
俺は世を
拗ねている
訳ではない
心的外傷に
引きずられ
他者との交流を
恐れている
訳でもない

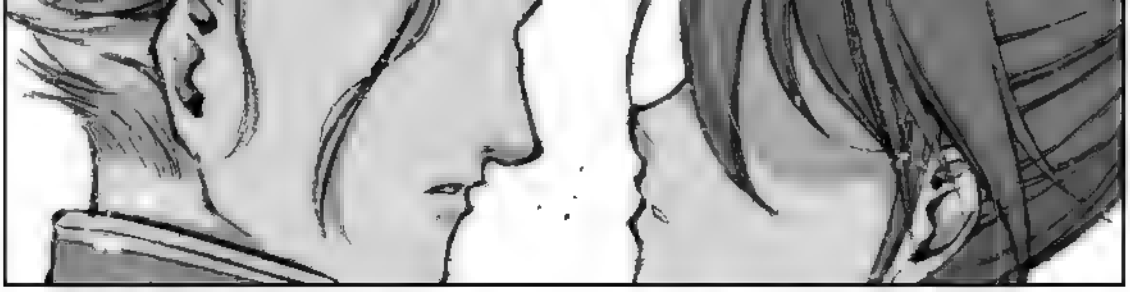
ユニス
お前が俺の
呪いによって
俺を愛したように
それが
兄によって
踏み躙られた
ように

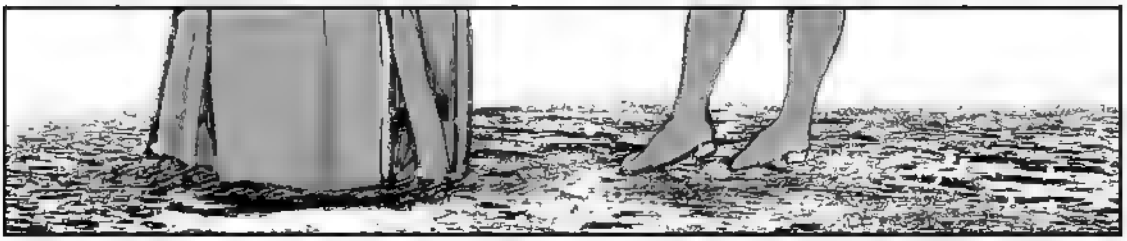
悪魔でさえ
神でさえ
時の中に
滅びゆくように
人は…
この世に生きる
全てのものは
力に抗う術は
ないのだ

……
そうだね

でも
それでも
あたしは
信じるよ
オウルを
オウルを愛する
あたしを
呪いや暗示で
植えつけられた
ようなものじゃない
あたしは
あたしの心で
感じたオウルを
愛してる

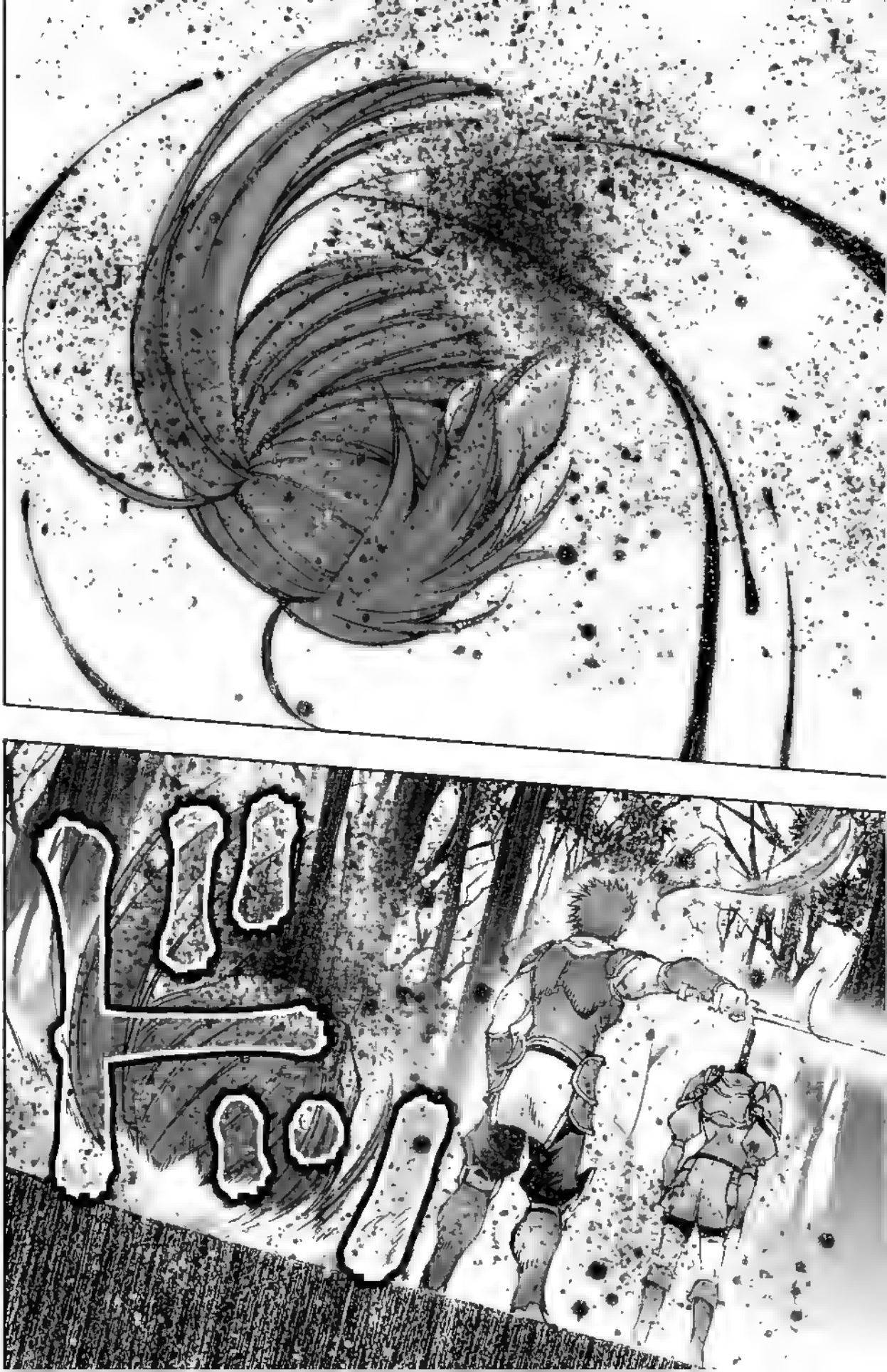

だから お願い
……ちょっとで
いいから
あたしのことも
信じててね

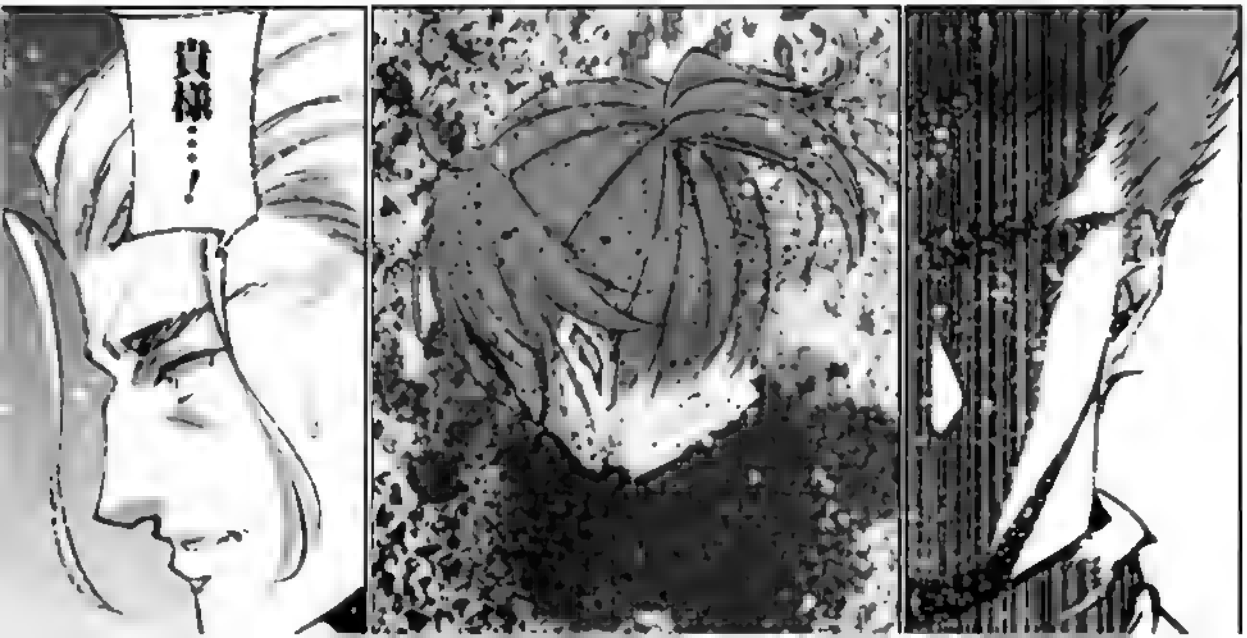




ユニ…

さよなら




貴様……！

ドン

激昂したいのはこちらの方だ

よくも妹をかどわかし…
…俺に殺させてくれたな
Step26 End

全員嬲り殺しにしてやりたいところだが
ここにあるのは形代…本体は迷宮の中だそうだな

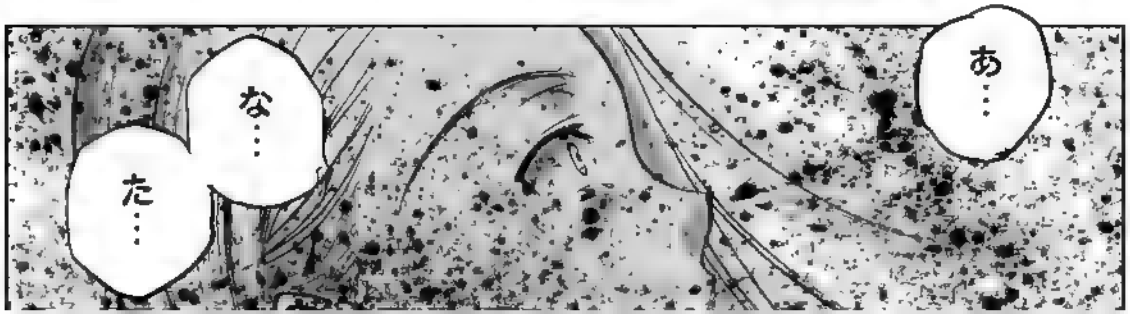
Step.27

首を洗って待っていろ
今すぐに乗り込んで肉の一片も残さず磨り潰してやる

スアアッ!!
ドドドド
ズズズ…
その必要はない

今すぐここで
勝負をつけてやる
あなた…！

下らぬ
真似を


あ…
な…
た…

ミュオオ

俺には一切の
魔術は効かぬ
それとも…
妻の幻影であれば
俺が動揺すると
でも思ったか？

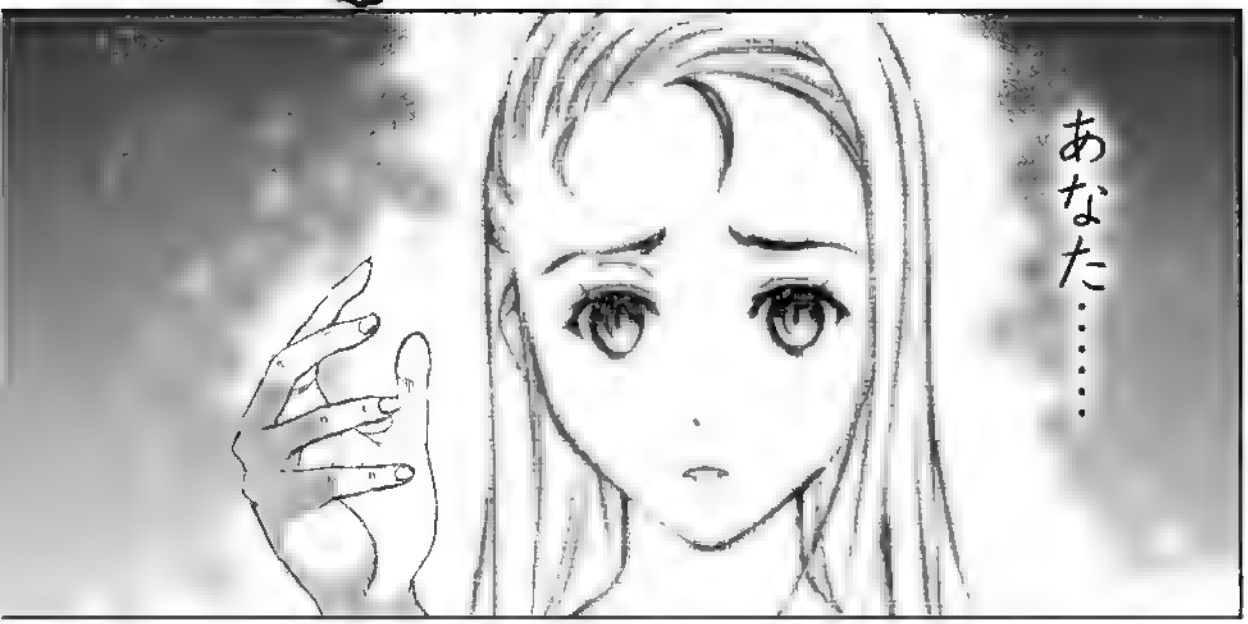
ああ
お前に
一切の魔術は
効かぬ

その剣に
迷いなく
油断もなく
実の妹をすら
手にかける

何が言いたい
何がしたい？
魔術師の貴様が
俺に勝てるとでも
思っているのか

油断がなく
迷いもない
ゴロ

それ自体が
油断だと
言っておるのだ
スススス


あなた……

魂は
誤魔化せぬ
お前には
この女の魂が
嘘偽りでなく
本物のヒルダの
魂であると
わかるはずだ

馬鹿…な!?
馬鹿な…!
馬鹿な…
ありえない…!
愚かな英雄よ
魔術を児戯と断じ
軽んずる貴様は
己の目を信用
しすぎたのだ

お前がヒルダか
私はザイトリードの妻です
……
敵に捕らえられ命乞いするくらいなら死を選びます
殺しなさい
大した女だ
さすがは英雄の妻という訳か

!?
だがこちらは
どうかな?
いや…!
ビクッ
くっ…
大切な
人質だから
といって
辱めを受けると
想像していなかった
訳ではあるまいな
お前のような
美女を
ただ殺す訳
ないだろう?
ワチュ…
安心しろ
人はどんなに
強がっていても
快楽には
弱いものだ

楽しませて
もらうぞ
ひ…！
ああああ
いきなり
突っ込んでしまって
すまなかったな
だがすぐ
楽になる
そら
もういい音を
立てているぞ

そんな…！
ちが…
パン
パン
パン
パン
そうか？
んあ！
どんなに
嫌がっていても
身体は嘘は
つけないものだ
お前のココは
そうは
言ってないぞ

何も考えず
快楽に身を
委ねればいい
あ
パン
パン
ドチュッ
ドチュッ
さあ
イけ
ドヴヴ
ドヴヴ

なかなか
よかったぞ
ヒルダよ
さて
仕上げだ

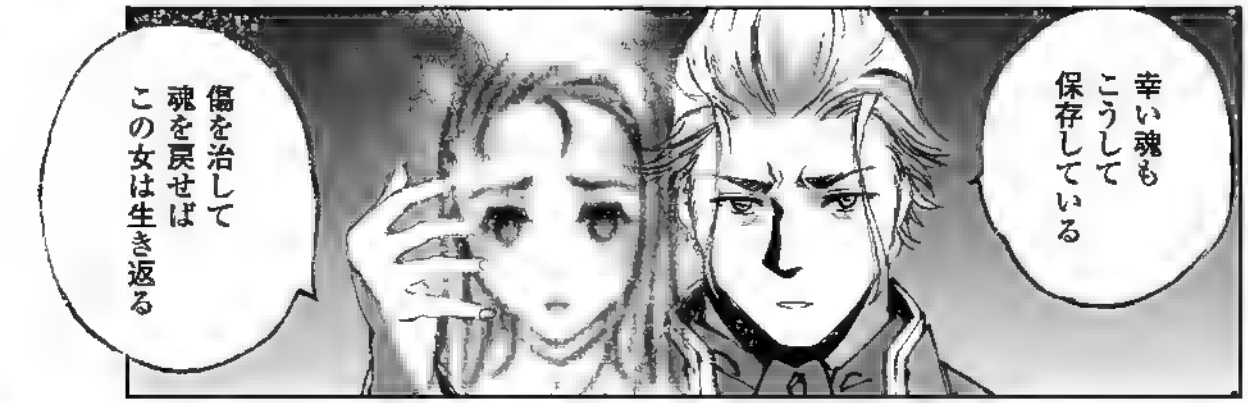
あああ
痛ぇ

肉や骨に傷をつけ歪ませ固定した状態で回復魔術をかける
すると肉や骨はその固定に沿って形が変わる
更に喉を焼き声を変えたうえで元のヒルダの顔型と声を幻術で上に被せた

おまえ

あああ
ボッ
いいのか？
俺ならば
生き返らせ
られるのだぞ？
……

胸を剣で
一突き
見事な腕だ
この傷で
あれば
まだ蘇生は
可能だ


幸い魂も
こうして
保存している
傷を治して
魂を戻せば
この女は生き返る

魔術を
使えば
だ
……
正直なところ
貴様は
バラバラにしても
飽きたらん…
しかし
その腕は
惜しい
…

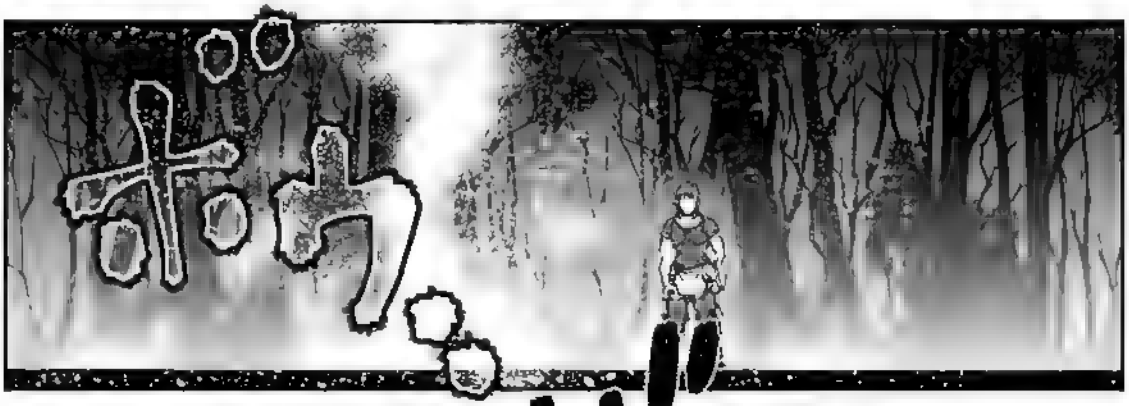
ザイトリードよ
呪いを受け入れ
俺の部下に
なるのならば
妻を蘇生してやる
なんだと…

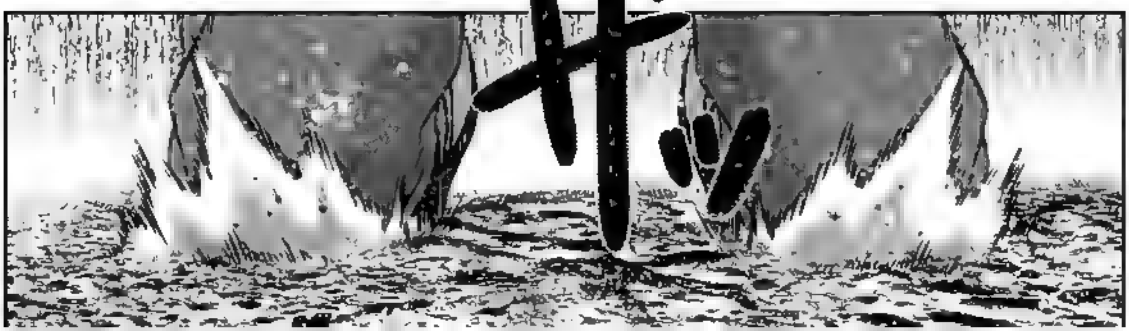
……
…貴様の言う
通りにすれば
ヒルダを助けて
くれるのか
ああ
傷一つ残さず
元通り蘇らせて
みせよう

妹を殺し…
最愛の妻を殺し…
その罪を背負う…
そうしてでも
英雄であることを
やめる訳にはいかない
そうでなければ
殺してまで
英雄であることを
やめさせなかった

お断りだ
妹（ユニス）に申し訳が立たぬ

…
…そうか


ポカ


ザッ

あなた！

ヒル…ダ…

無事だったのか…？

守るべきものがいたからこそ
奴は血で手を染めてきた
だが もう誰もいない
奴自身が殺してしまった

だから抗うことが
できなかった
鉛の英雄の心は
無意識に幻影を…

魔術を受け入れた

…ふう
さすが
英雄の魂ね…
上質な味わいだわ

オウルー
さっさとこの子
蘇生してあげてよ
……

ご苦労

Scene27 End

Step.28

英雄の魂は
死ねばすぐさま
天へと還る
そういう
決まりに
なっている

それって…
英雄といっても
何のことはない

…悪魔と契約した
魔術師と
大差はないんだ

ザイトリードが
負けただと？

相手をするまでもない小物と
ザイトリードは
言っていた
奴は魔術を
受け付けぬ
稀代の英雄…
生半可な方法で
負けるわけはない
…期待できる
やもしれんな

陛下！
!?
ユニス様は…
…姫様は
一体何の
ために……！
トスカンよ
お前の怒りは
もっともだ

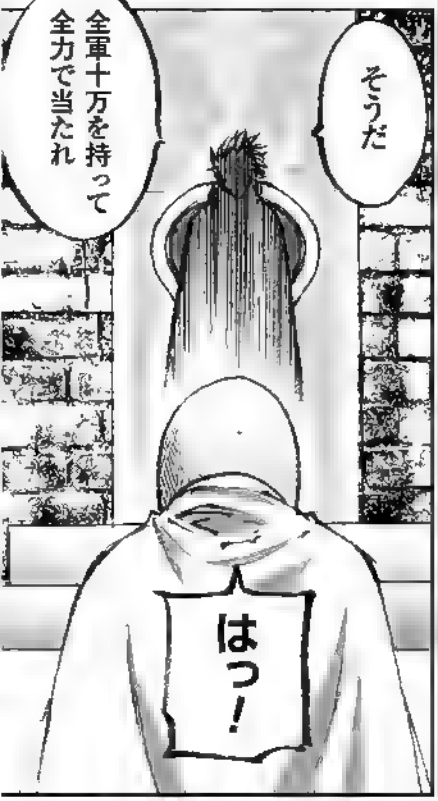
だが英雄として
生まれた者には
英雄としての
価値観がある
死ねるのならば
疾くこの世を
去った方が
幸せなのだ

……
私には
とてもそうは
思えませぬ
その実直な所が
俺がお前を
傍においている
理由だ
しかし
いずれわかる
日が来よう

陛下
王都の北部
10マイルほどの
平野に魔王軍
三千が出現
先の戦とは
異なり妖魔が
ほとんどの
ようです

現在一直線に
王都を
目指しており
おそらく
一刻程度で
王都に
辿り着くかと

籠城…で
ございますか？


そうだ
全軍十万を持って
全力で当たれ
はっ！

王都の
門を閉め
全軍を持って
防衛に当たれ

さて…
…こちらは全力を出してやる
三千の兵でどう出る

魔王オウルよ

ウィキア
そろそろ
目的地の
はずだが
そのはずよ
…この地図の
通りなら…

…
あれじゃ
ないかしら

あれが…
『悔れ』の
洞窟

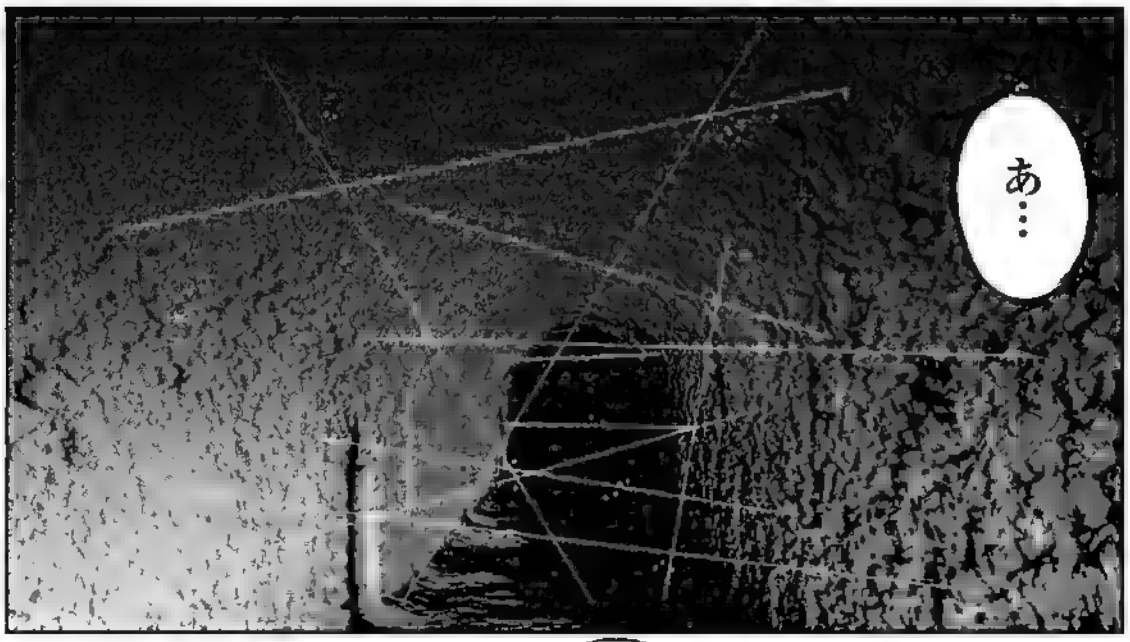
ええ
間違いないわ
仕事でもなきゃ
来たい場所じゃ
ないね…

なんだ
怖いのか
あたしは地下迷宮(ダンジョン)
専門のシーフだから
人工の罠以外は
専門外なんだよ
先に言っとくけど
前衛としては
あまり期待
しないでよね
大丈夫
ですよ
このメンバーは
オウル様が
決めたものです
過分も不足も
ありません
きっと
ファロさんの
力が必要に
なるはずです
ではその
期待に応えるよう
力を合わせて
頑張ろう
オウル様の――
おちんぽの
為に！
……

…
凄い瘴気だね
オウルの迷宮の最下層並ね
気を付けないとですね
なに恐れることはない
我々にはオウル様から頂いた武具がある
あたしはあんま関係ないんだけどなあ
ってちょっと待って

ヒュッ
キャア！
うわあ…
爆発するほどの
瘴気溜まりまで
できてる…
自然に
迷宮化するって
こういう事？
なんで
わかったの？
これ

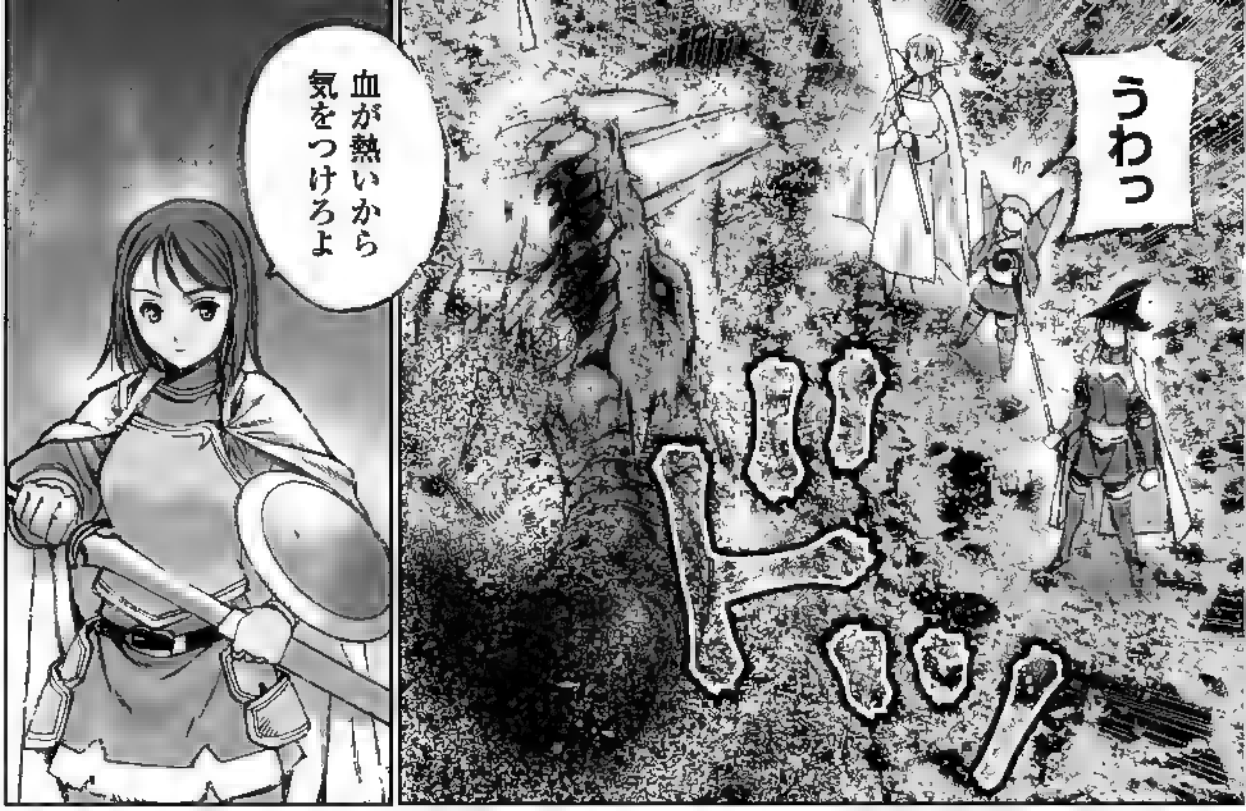
オウルがくれたんだけど魔力が見えるんだって
待って私の『魔力の瞳』には見えなかったわよ
あるよほらあそこことかにも
ん…？


あ…

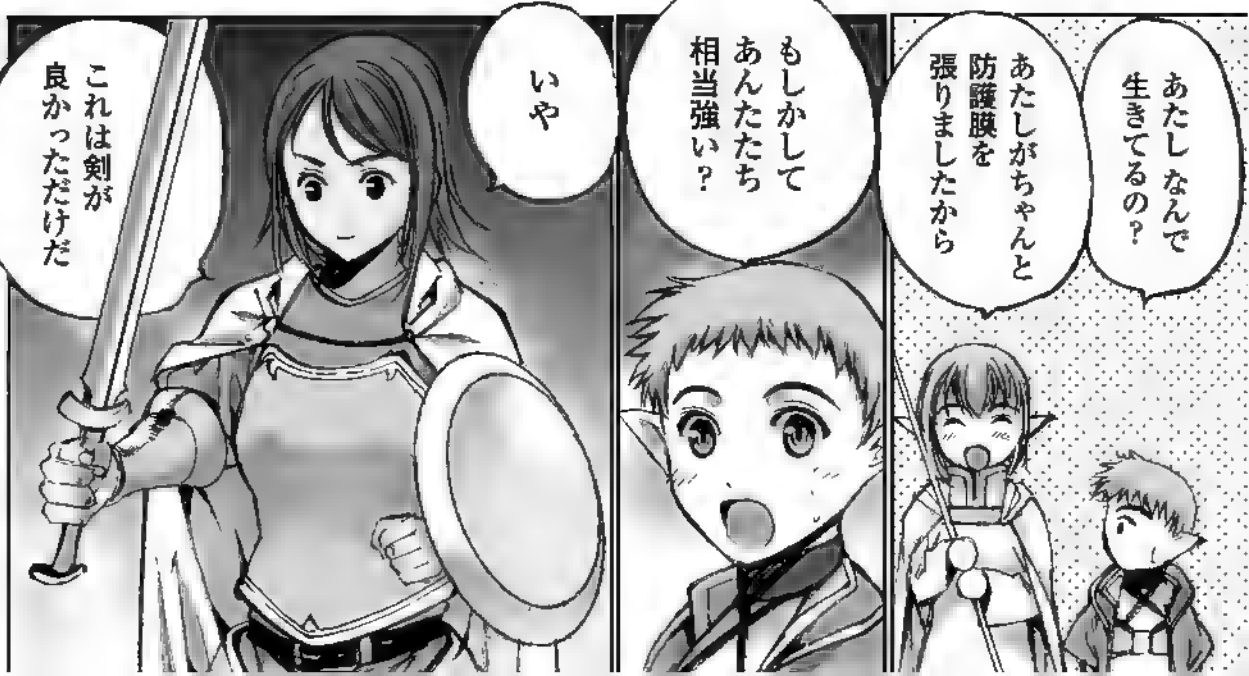
よっ
見えちゃえば魔法仕掛けの罠と大して変わらないね
ファサア

嘘でしょ
なんで手で
魔法の罠を
解除できるの？
そりゃあ誰かが
作ったなら無理だけど
これは魔力が溜まって
勝手に出来た奴だから
へえ意外と
簡単なんだな
よかったです
やっぱり
オウル様の
人選は間違い
ないです
同じ
胸小さき者同士
誇らしいのです
辺りの岩とか
どかして
やればね
何か
来ます！
ズン
ズン
でかいな
ちょ！
いきなり
ドラゴン？
違う
あれは亜竜
ファイア
ドレイクよ

ゴゴゴ
ガオン
盾よ！
氷の矢！

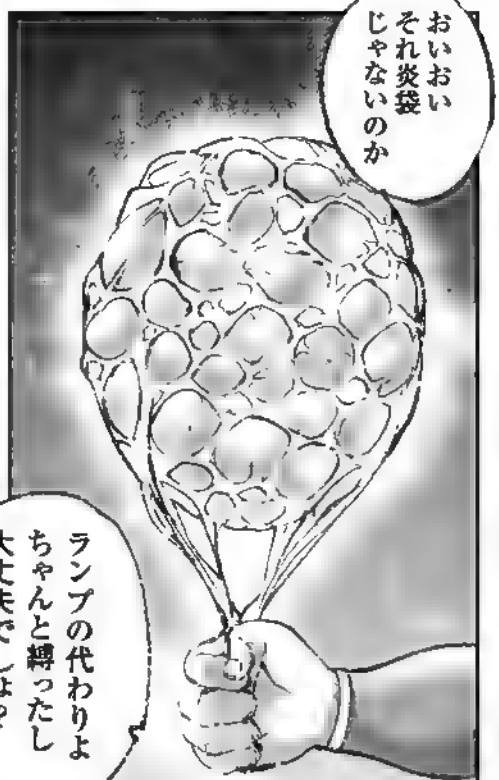

うわっ
血が熱いから気をつけろよ

うわ…


あたし なんで生きてるの？
あたしがちゃんと防護膜を張りましたから
もしかしてあんたたち相当強い？
いや
これは剣が良かっただけだ

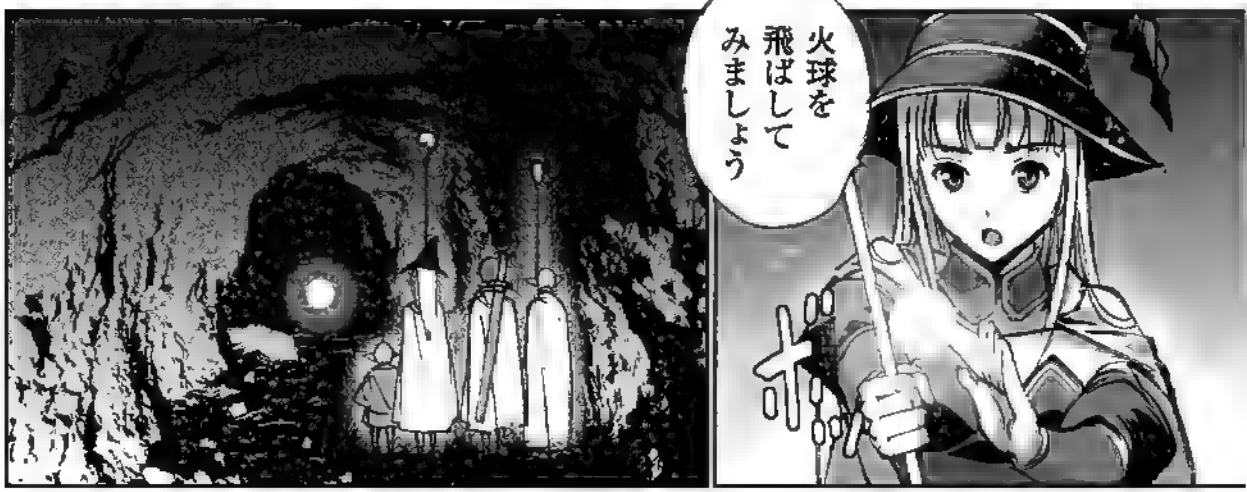
ところで
ドレイク肉は
食べたこと
あるか？
ううん
ない
美味しいの？
旨いぞ
食感は鶏に似てるが
それよりずっと濃厚だ
こう…噛むと中から
じゅわっと
脂が滴ってな
調理に手間が
かかるし私は
あんまり
好きじゃないけど

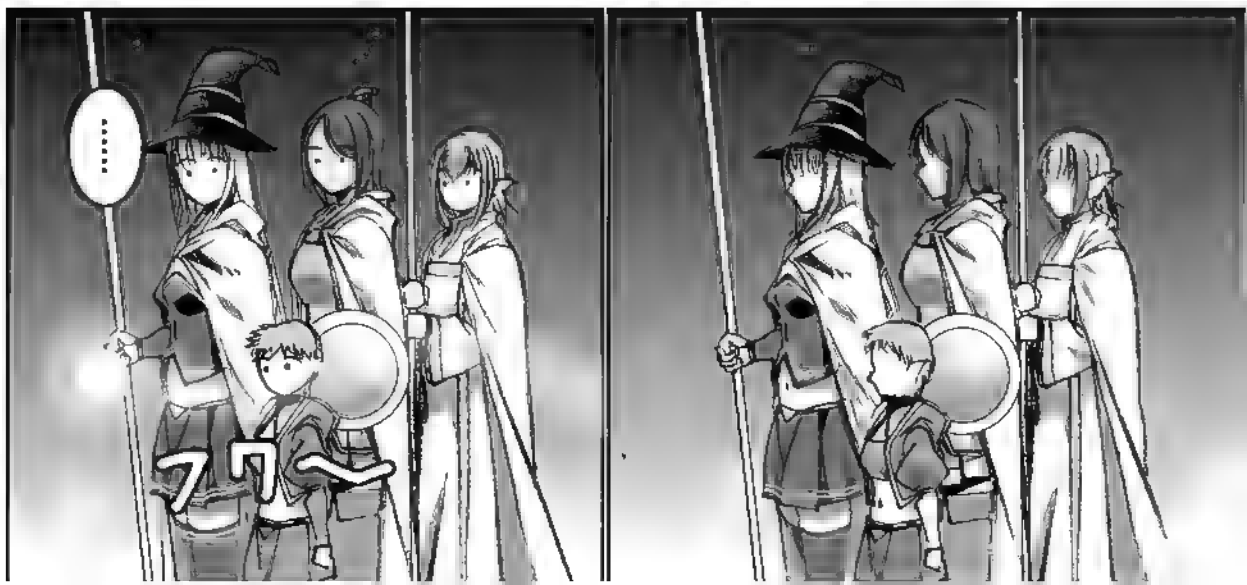
なにせ火竜
ですからね
中まで火を通すのに
三日かかります
三日？
手止めないで
…うわっ
あ腹の辺りにまだ
火が残ってる
ことがあるから
内臓には手を
出さない方がいい
なにそれ
怖い


おいおい
それ炎袋
じゃないのか
ランプの代わりよ
ちゃんと縛ったし
大丈夫でしょ？

おかしい…
さっきから
同じ所を
ぐるぐる
回ってないか？
そういえば…

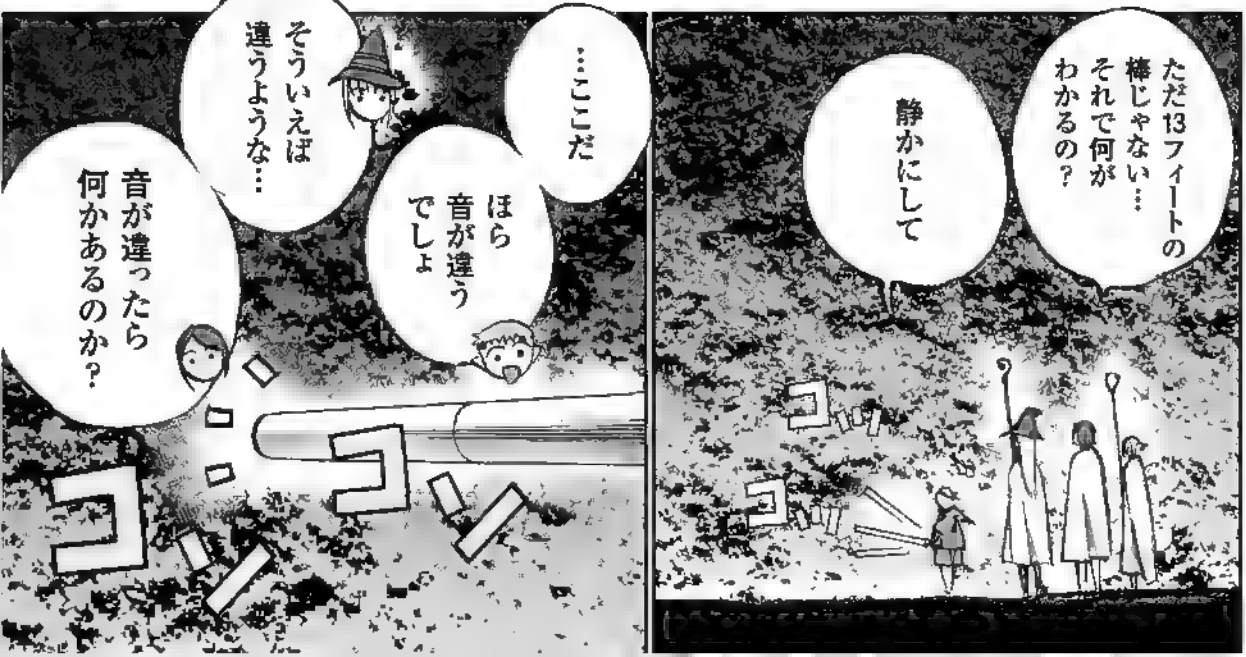
おいこれさっき
ウィキアがつけた
目印じゃないか
あ
ほんとだ…
転移した
感覚なんて
全くなかったのに
あたしも
気付きません
でした…


火球を
飛ばして
みましょう


……
フワ〜

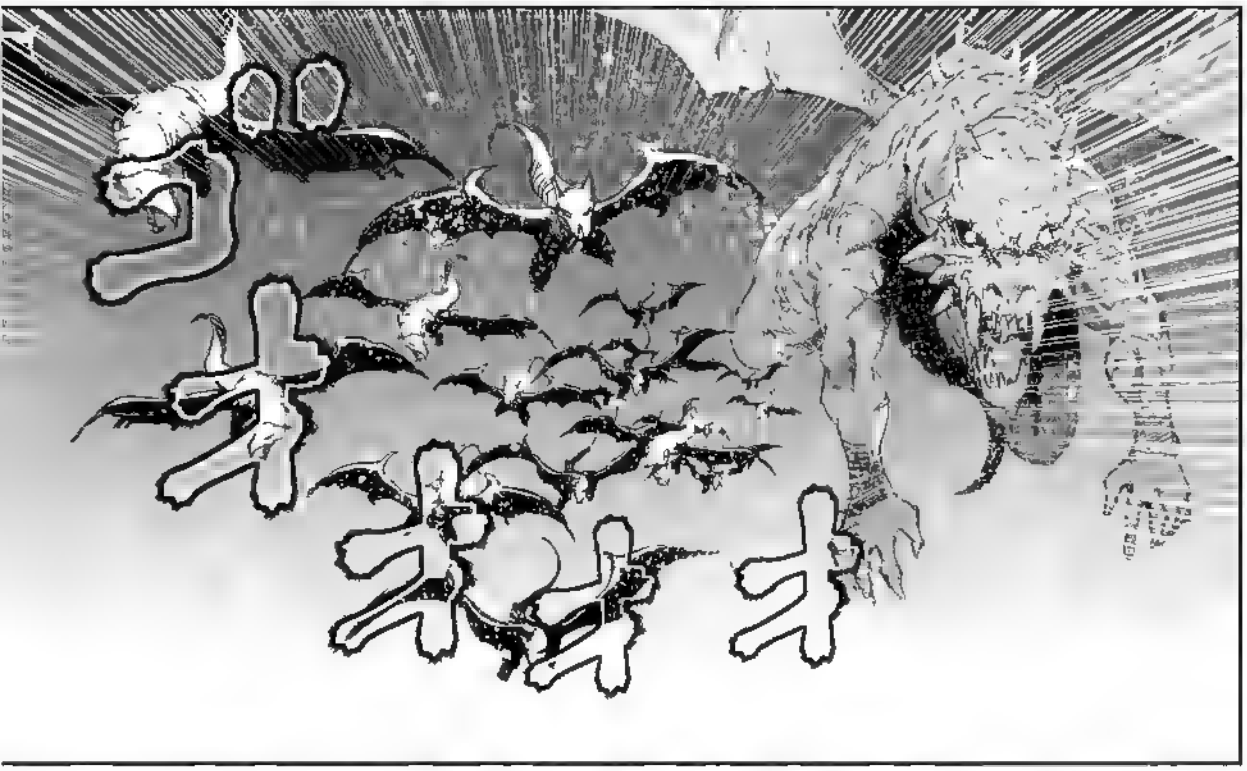
なるほど
転移というより
空間自体が
捻じ曲がって
るのね
戻って
別の道を
探す？
いいえ
こっちで正しいはずよ
空間が捻じ曲がるほど
瘴気が濃いってことは
目的地が近い証拠よ
しかし
どう進む
空間が
捻じれてるなら
避けて通るのも
無理そうですね

そういうことなら
任せといて！
ばーーーん!!
なんだそれ
10フィート
棒（プラス）＋3！
しゃきーん
プラス3って
何が違うん
ですか？
長さ！


ただ13フィートの
棒じゃない…
それで何が
わかるの？
静かにして
…ここだ
ほら
音が違う
でしょ
そういえば
違うような…
音が違ったら
何かあるのか？
コ
コ
コ
コ

この向こうに空洞があるってこと
人工のダンジョンなら隠し扉があるだろうけどここにはないから…
岩の隙間に固定してっと…
ひっ
壊せばいいってことか
あこれ使えばいいんじゃないかな
ドレイクの炎袋か…
ウィキアさん火球で起爆してください
ええわかったわ

あんなもん
さっきまで
もってたの
あたし…
すまん耳が
馬鹿になって
聞こえん
に逃げて
ください



うわ！
これは
多すぎる！

盾よ！
逃げるぞ
逃げるったってどこへ！

あれだ！
!?

キャー

Step28 End

Step.29
ズーン
ズーン
ズーン

ナナナナ
頼りにしているぞローガン

ゴオ
おお任せとけ
一撃で
決めてやるよ
その顔で
笑われると
キモい
うるせえな
オレだって好きで
こんな顔
してんじゃねえよ!
…

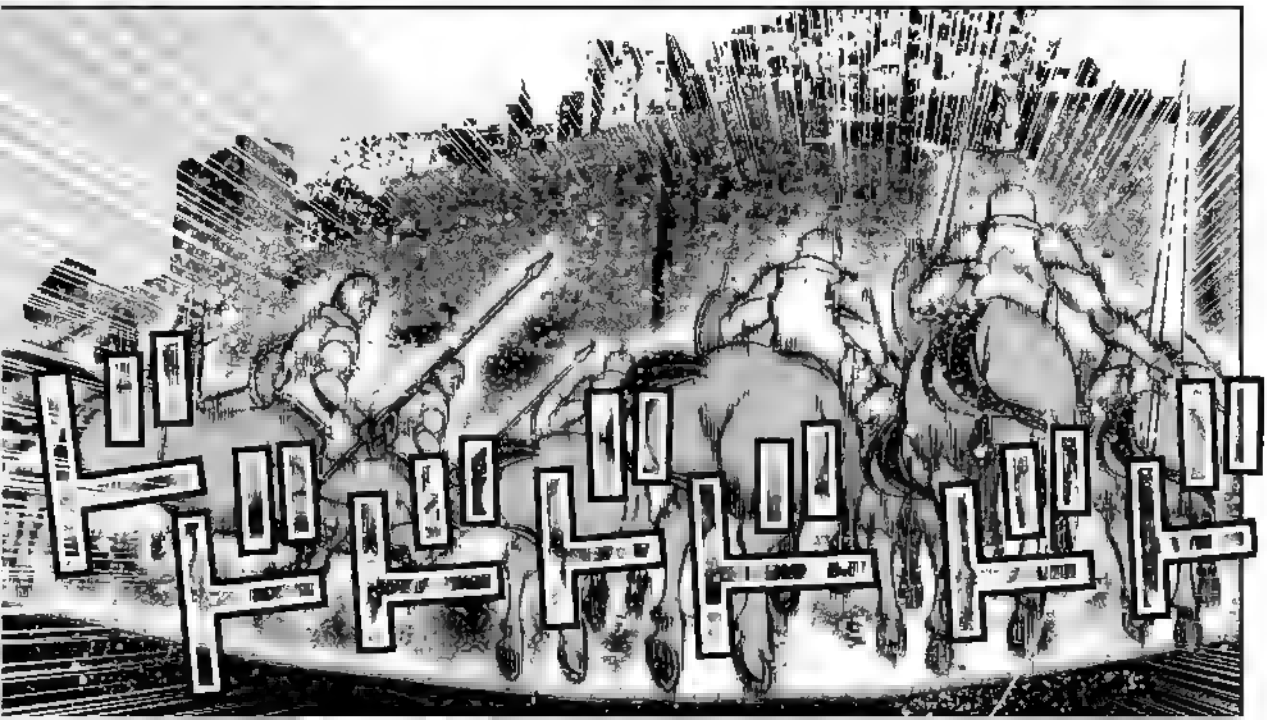
全軍
突撃！
ガッガッ
ドドド

全兵
構え！
今だ
撃てッ！

ヒュオ
ヒュオ
……
!!!
消えた！
幻影か？

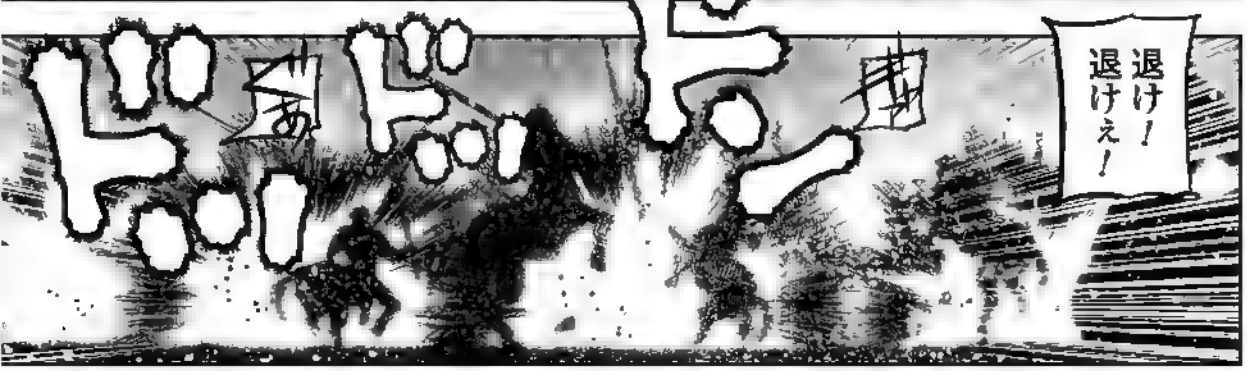
ドドドドド
いや…
転移か！

弓兵
構えよ！
ヴォン
陛下！
敵の半分が
更に転移
しました！
なんだと！



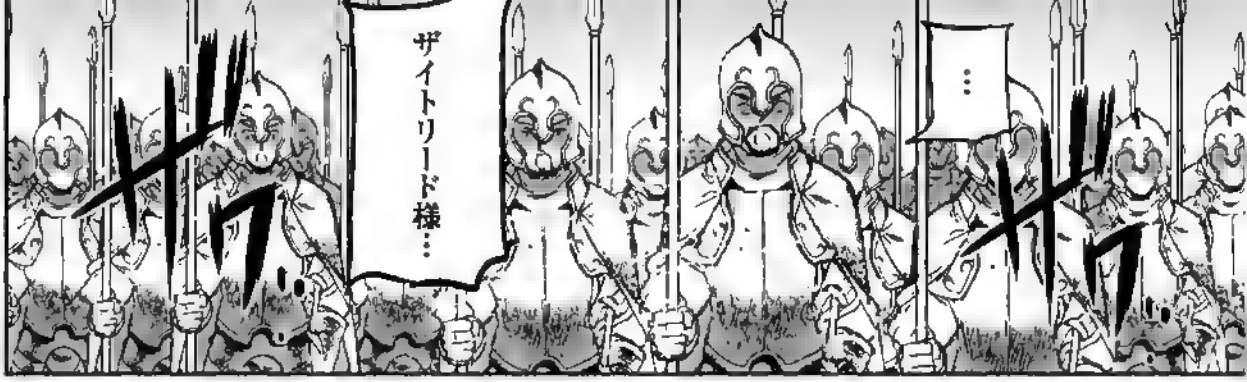
ケンタウロスの部隊が外壁の100ヤードまで…！
ただでさえ少ない軍を更に半分に分けるとは…
後続のリザードマン部隊を確実にしとめよ
馬どもは外壁で迎え撃つ！
ドドド

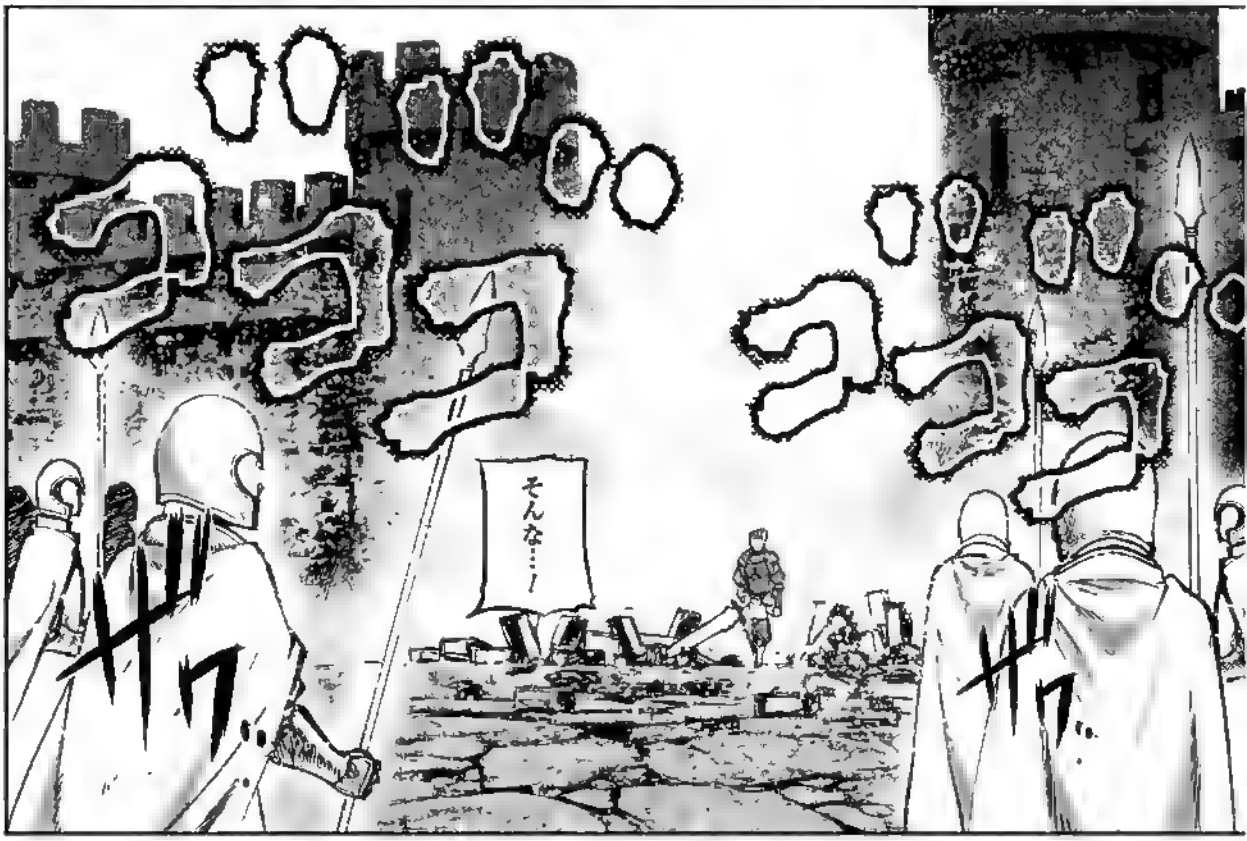
ドドドド
あぁ
!!
ガラガラ
岩だ！


ドドドド
あぁ
退け！
退けぇ！

…
ヤバ!!

ズズズ
ズズ
陛下！
…その
敵に…
ズズ
わかっておる
ザイトリードが
いたのであろう
ズズ
ズズ

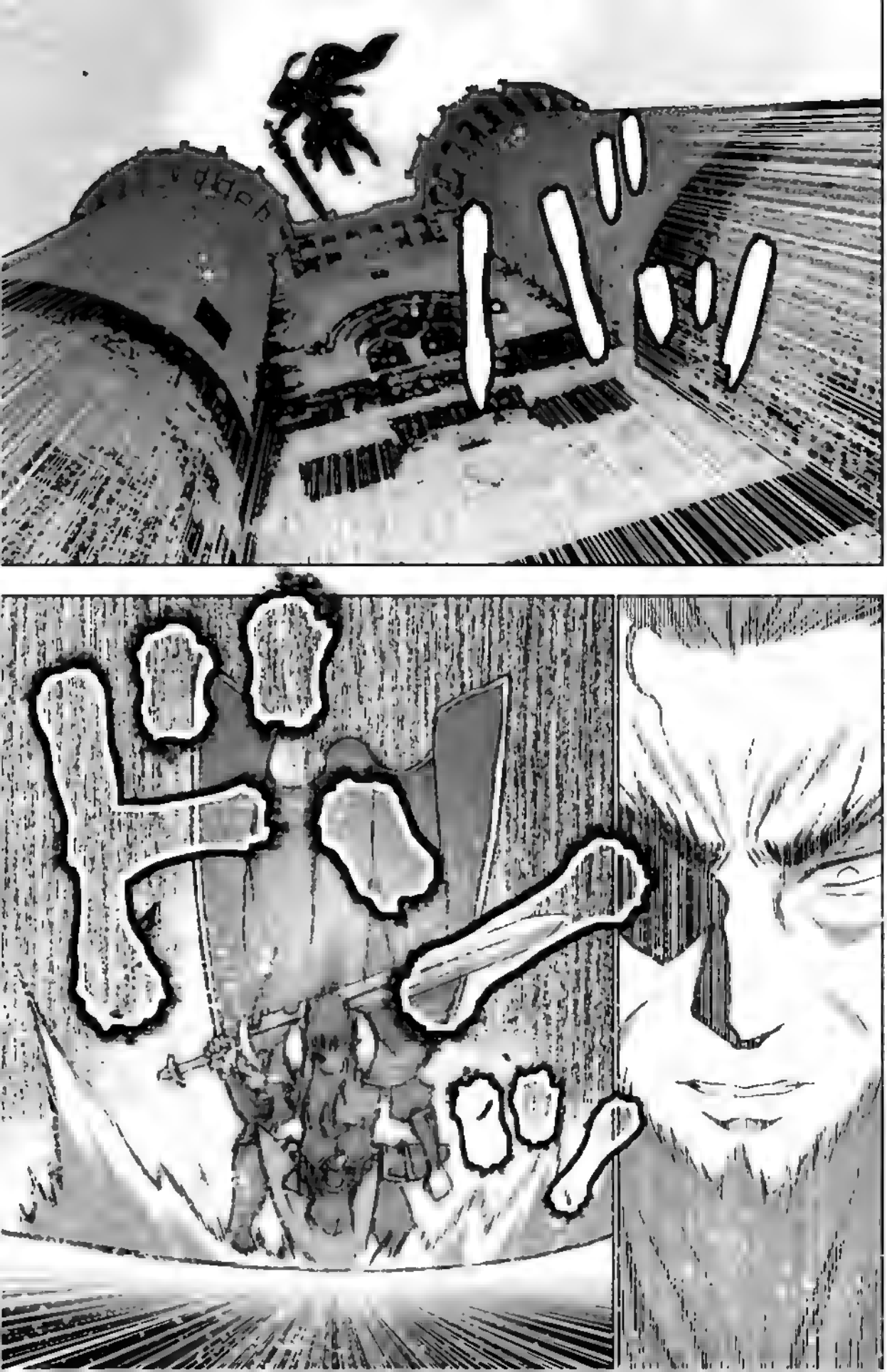

…
ザイトリード様…


そんな…!

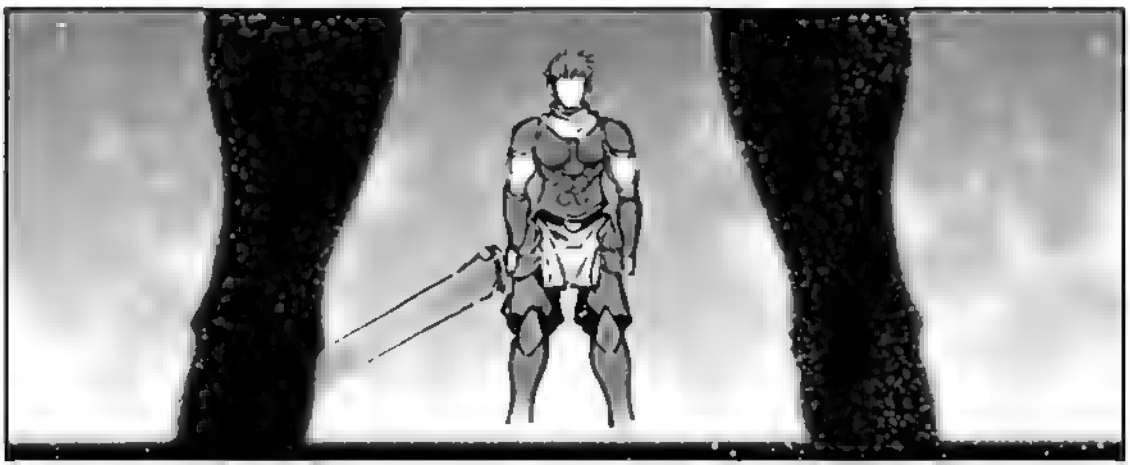
大方 悪魔にでも
死骸を操らせて
おるのだろう

兵を引け
奴に知らしめてやる
本物の英雄が
どのような
ものであるか！

剣を！
は！



陛下！
ォォォォォォ
陛下！

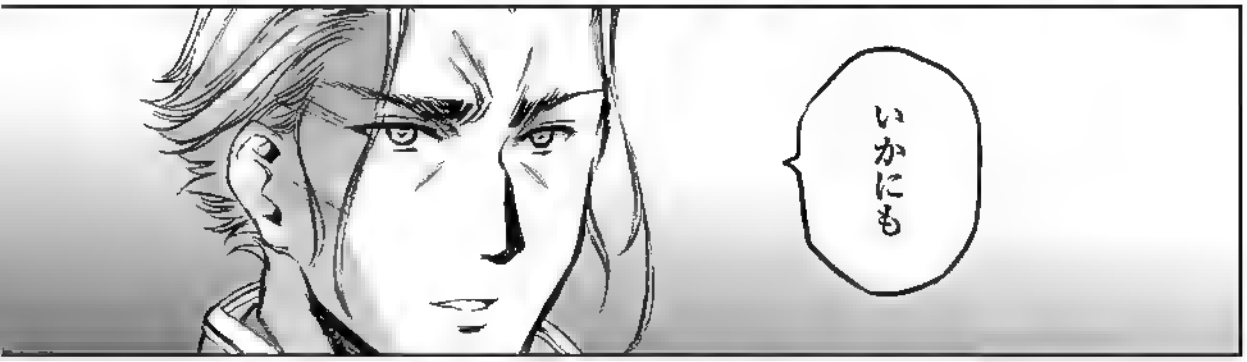


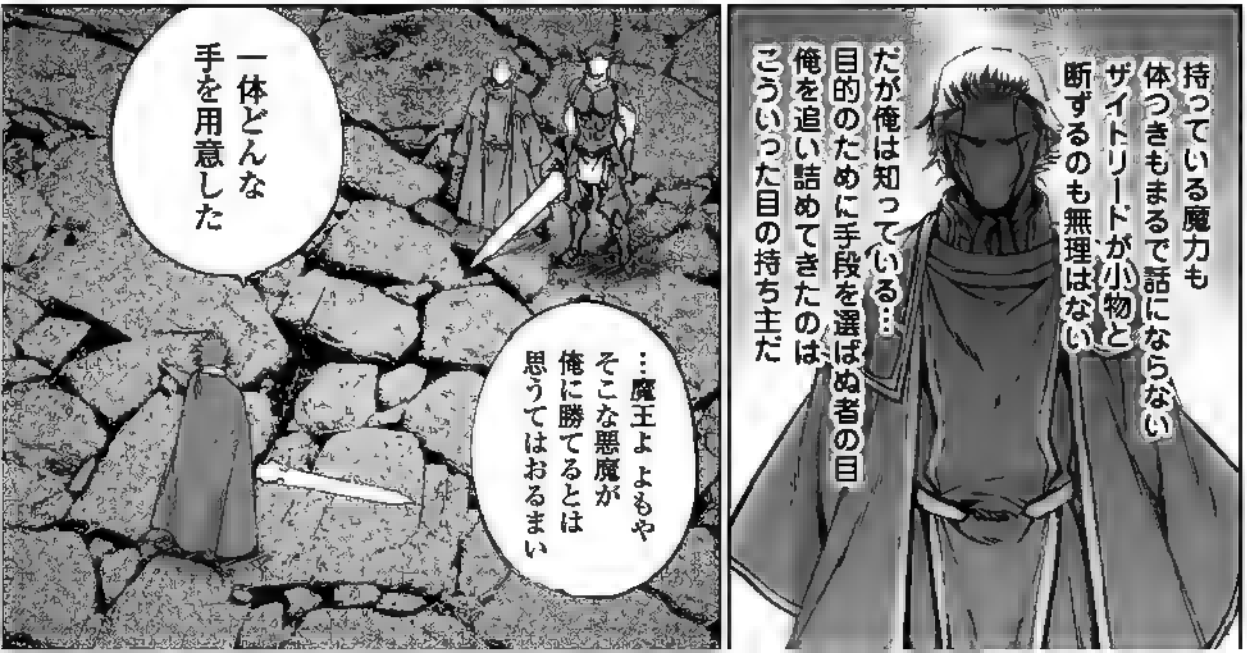
そこな貴様
我が息子の身体を
返してもらおうか
こんなに
便利な身体
そう簡単に
返す訳には
いかねえな
あ
幼女10人と
だったら
考えるぞ

下種が…！
ためしに
戦ってみたい
気もするけどな
残念ながら
今日の俺は
ただの
配達業者だ
…配達？

人だ！
人が浮いてる

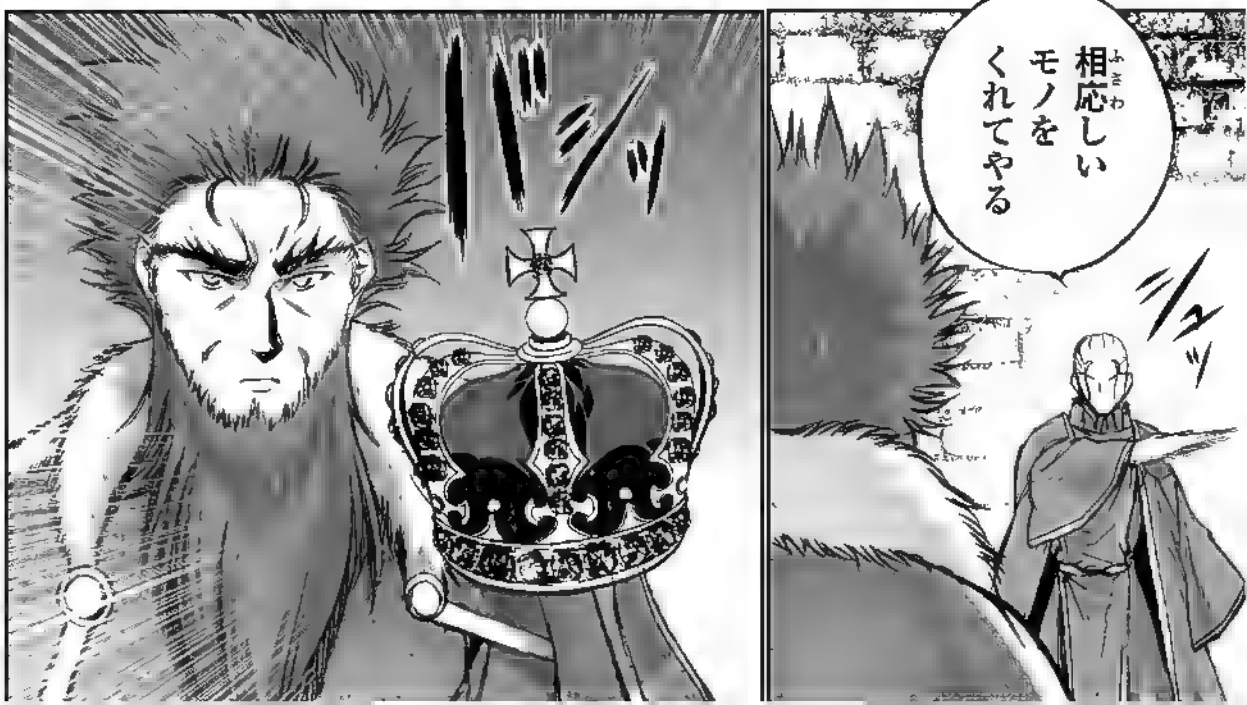
貴様が
魔王か

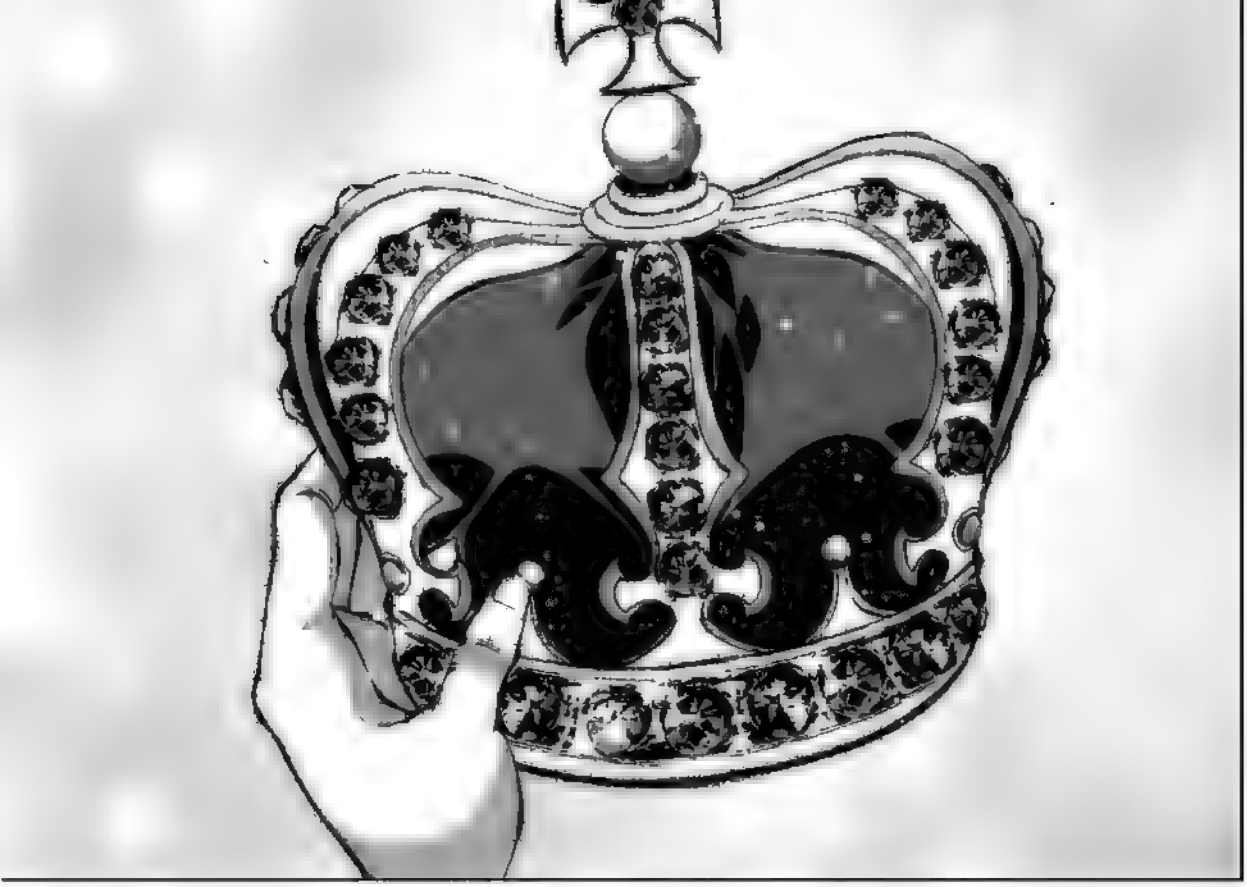

いかにも


持っている魔力も
体つきもまるで話にならない
ザイトリードが小物と
断ずるのも無理はない
だが俺は知っている…
目的のために手段を選ばぬ者の目
俺を追い詰めてきたのは
こういった目の持ち主だ
…魔王よ よもや
そこな悪魔が
俺に勝てるとは
思うてはおるまい
一体どんな
手を用意した

ああ
…貴様であれば
勝てると
信じている

スウゥ
ウォルフよ お前は
英雄の中の英雄
王の中の王
何者にも勝る
英雄王だ
そんなお前にこそ


相応(ふさわ)しい
モノを
くれてやる
ハッ



!?
ふー
なんとか
間に合いましたね
なんだこれは

毒だ

貴様！

これは
まさか…！

これは
この国を
滅ぼす毒

…期待
しているぞ
ウォルフ

ズオオ
お前の善戦を
……
ズオオ

End

魔王の始め方

ヴァルキリーコミックス
魔王の始め方4
THE COMIC
【電子書籍版】

著者
小宮利公

原作
笑うヤカン

キャラクター原案
新堂アラタ

装丁
マイクロハウス

発行
株式会社キルタイムコミュニケーション
〒104-0041　東京都中央区新富1-3-7ヨドコウビル1F
●編集部 TEL.03-3551-6147／FAX.03-3551-6146
●販売部 TEL.03-3555-3431／FAX.03-3551-1208

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、
ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©Toshimasa Komiya　©Warau Yakan　2018
当ファイルは、ヴァルキリーコミックス『魔王の始め方 THE COMIC [4]』
（2018年3月8日　初版発行）に基づいて作成しております。

http://ktcom.jp/

※この物語はフィクションであり、実在の人物・団体とは一切関係ありません。

本作品のご意見、ご感想をお待ちしております

本作品のご意見、ご感想、読んでみたいお話、ジャンルなど
どしどしお書きください！　読者の皆様の声を参考にさせていただきたいと思います。
手紙・ハガキの場合は裏面に作品タイトルを明記の上、お寄せください。

◎アンケートフォーム◎ http://ktcom.jp/goiken/

◎手紙・ハガキの宛先◎
〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7 ヨドコウビル
(株)キルタイムコミュニケーション　ヴァルキリーコミックス感想係

コミックヴァルキリー Web版

FIGHTING GIRLS SPECIAL COMIC

コミックヴァルキリー

valkyrie

閲覧無料 ALL FREE

登録不要 REGISTER FREE

新作書き下ろしコミック、ゾクゾク更新中!!!!!

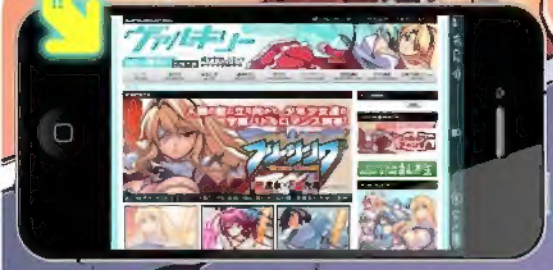
闘うヒロインが満載!!!!!

バトルあり笑いあり お色気ありで360度、死角なしで全包囲中!!

PCでスマホで無料で読み放題

今すぐ公式サイトにアクセス!

スマホ版も公開中です!!



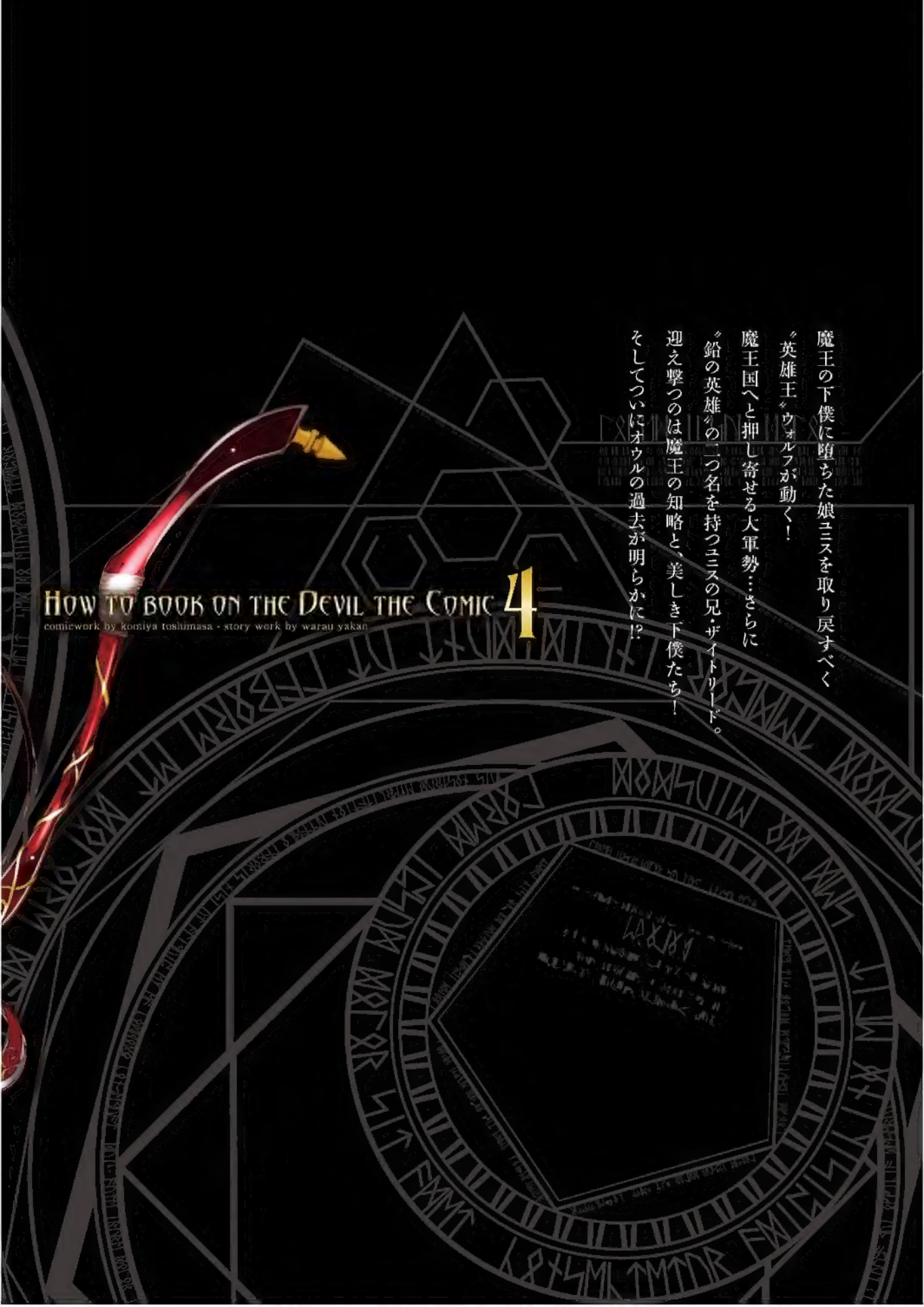
http://www.comic-valkyrie.com/

Windows・Macを初めとするPCブラウザおよびiPhone・Android端末等でご覧いただけます。

編集・発行 キルタイムコミュニケーション

〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7 ヨドコウビル TEL.(03-3555-2431(販売) FAX.03-3551-1208

最新情報はオフィシャルサイトへ コミックヴァルキリー 検索


魔王の下僕に堕ちた娘ユニスを取り戻すべく
〝英雄王〟ウォルフが動く！
魔王国へと押し寄せる大軍勢…さらに
〝鉛の英雄〟の二つ名を持つユニスの兄・ザイトリード。
迎え撃つのは魔王の知略と、美しき下僕たち！
そしてついにオウルの過去が明らかに!?
HOW TO BOOK ON THE DEVIL THE COMIC 4
comicwork by komiya toshimasa • story work by warau yakan